本書の WEB 版はコチラ
https://okinawagansapo.jp

お問い合わせ 琉球大学病院　がんセンター
〒903-0215　沖縄県西原町字上原 207
TEL:098-895-1531　FAX:098-895-1497
E-mail:mail@ryukyucc.jp

地域の療養情報

おきなわ がんサポート ハンドブック

2022年版
令和3年度 沖縄県委託事業



地域の療養情報 おきなわ がんサポート ハンドブック 2022年版



支え合う、あなたと
大切な人たちのために

がんや療養生活について詳しく知るには

正しい情報を知ることが大事です
本書と合わせてご活用おすすめの本

『患者必携　がんになったら手にとるガイド 普及新版』
定価：968円

国立がん研究センターが発行し、ホームページでも公開しています。
さらに詳しい情報が載っています。



- ○ がんとの向き合い方や基礎知識
- ○ がんの療養に役立つヒントなど
- ○ 具体的な説明
- ○ 用語の解説

治療や療養生活において説明を受けた内容や、質問したいことを書き留めて整理できる「別冊 わたしの療養手帳」付きです。



■購入方法

- 一般書店
（注文してお取り寄せできます）
- インターネット通販
- 琉球大学病院内 売店





〈もくじ〉

【巻頭綴じ込み】がんと告げられたあなたへ

信頼できるインターネット情報
診断から治療までのながれ
がんと言われたとき、すぐに役立つヒント＆リスト

がんや療養生活について詳しく知るには ……表紙裏
がんの冊子 ……裏表紙裏

【第1部】納得して治療を受ける 7



がんの疑いがあると言われてから治療が始まるまでの、不安を和らげたり、病気の理解を深めたり、治療方法の選択に必要な情報を掲載しています。

1.がんについて相談する

(1)がん相談支援センター ……10
(2)沖縄県医療安全相談センター ……11

2.情報を集める

(1)病名、性質、病期 ……12
(2)担当医の説明を聞く ……13
(3)セカンドオピニオン ……14
(4)セカンドオピニオン実施施設 ……15
(5)書籍とインターネットで情報をさがす ……16

3.治療について知る

(1)がん治療と療養の過程(ライフコース) ……18
(2)標準治療と科学的根拠(エビデンス) ……20
(3)臨床試験 ……21
(4)補完代替療法 ……21
(5)ゲノム医療 ……22
(6)妊娠の可能性を残す(妊孕性温存療法) ……22

4.県内の医療体制

(1)がん診療連携拠点病院制度 ……24
(2)希少がんと小児がんの診療病院 ……25
(3)がん診療を行う医療施設 ……25
(4)がん診療を行う県内医療施設一覧 ……26
(5)離島とがん ～通院治療の選択～ ……28

【第2部】よりよい療養生活をおくるために 31



緩和ケアや、在宅で療養を続けるための生活を支える仕組みについて紹介しています。また、患者会や外見ケアの情報も掲載しています。

1.痛みやつらさを和らげる

(1)緩和ケア ……34
(2)さまざまな身体的症状への対応 ……35

2.自分らしく毎日を過ごす

(1)外見ケア ……36
(2)がんとセクシャリティ ……37
(3)アドバンス・ケア・プランニング(ACP) ……38

3.同じ病気の人の話を聞いてみる

(1)がんピアサポーター(がん経験者による相談) ……40
(2)患者会 ……41
(3)患者支援団体 ……45
(4)患者サロン ……46

4.子どもの療養を支える

(1)入院中の教育支援、復学支援 ……48
(2)ファミリーハウス ……49
(3)入院中のきょうだい支援 ……50
(4)晩期合併症と長期フォローアップ ……51
(5)養育支援訪問事業 ……51
(6)一時預かり事業、病児・病後児保育事業 ……51

5.AYA世代のがんを考える

(1)AYA世代のがん ……52

6.自宅で療養生活を続ける

(1)在宅療養 ……54
(2)訪問診療 ……55
(3)訪問看護 ……55
(4)介護保険 ……56
(5)福祉用具・介護用品 ……57
(6)高齢者の相談窓口(地域包括支援センター) ……57
(7)介護タクシー ……58

7.自分らしく生きる

(1)終末期における緩和ケア(ターミナルケア) ……60
(2)グリーフケア ……62

【第3部】お金のことについて 63



治療費の負担を軽くする各種制度や、生活状況に合った支援制度について紹介しています。

1.医療費の負担を減らす

(1)高額療養費制度 ……66
(2)高額療養費限度額適用認定証 ……69
(3)標準負担額減額認定証 ……69
(4)高額療養費貸付制度 ……70
(5)高額医療・高額介護合算制度 ……70
(6)確定申告による医療費等の控除 ……70
(7)その他の制度 ……71

2.治療を受けながら働く

(1)医療機関での就労相談 ……74
(2)治療と仕事の両立支援 ……75
(3)労働問題全般についての相談 ……76
(4)生活から就職までの総合相談 ……76
(5)女性の就業相談、仕事と子育ての両立などの相談 ……77
(6)働くがん患者の支援団体、冊子 ……77

3.仕事を辞めて治療に専念する

(1)退職に伴う健康保険の変更 ……78
(2)失業手当(基本手当)の受給期間の延長 ……79

4.家庭の状況に合う支援を受ける

(1)傷病手当金 ……80
(2)ひとり親家庭等医療費助成制度 ……81
(3)国民健康保険一部負担金の減免制度 ……81
(4)生活保護制度 ……82
(5)生活福祉資金貸付制度 ……82

5.離島やへき地に住む人向けの制度を知る

(1)がん治療の渡航費等助成 ……84
(2)離島へき地がん患者等宿泊支援制度 ……84

6.障害についての支援を受ける

(1)障害年金 ……86
(2)障害手当金(厚生年金) ……86
(3)身体障害者手帳 ……87

7.子ども向けの制度を知る

(1)小児慢性特定疾病医療費助成制度 ……88
(2)特別児童扶養手当 ……88
(3)障害児福祉手当 ……88
(4)その他の制度 ……89

問い合わせ先一覧 90

■年金事務所一覧／各医療保険窓口 ……90
■税務署一覧／福祉事務所一覧 ……91

体験談

- 私の病床体験 ……30
- がん治療と向き合う ……39
- 周りが必ずついている ……53
- 骨髄移植を経て ……59
- 制度を利用して不安を軽くする ……83
- 死ぬも生きるも100%全開 ……85

ノート欄

●面談にのぞむときの質問集 ……92
●私のメモ(担当医からの説明の記録) ……94

関連情報のご案内



コチラもCheck!『がんになったら手にとるガイド』

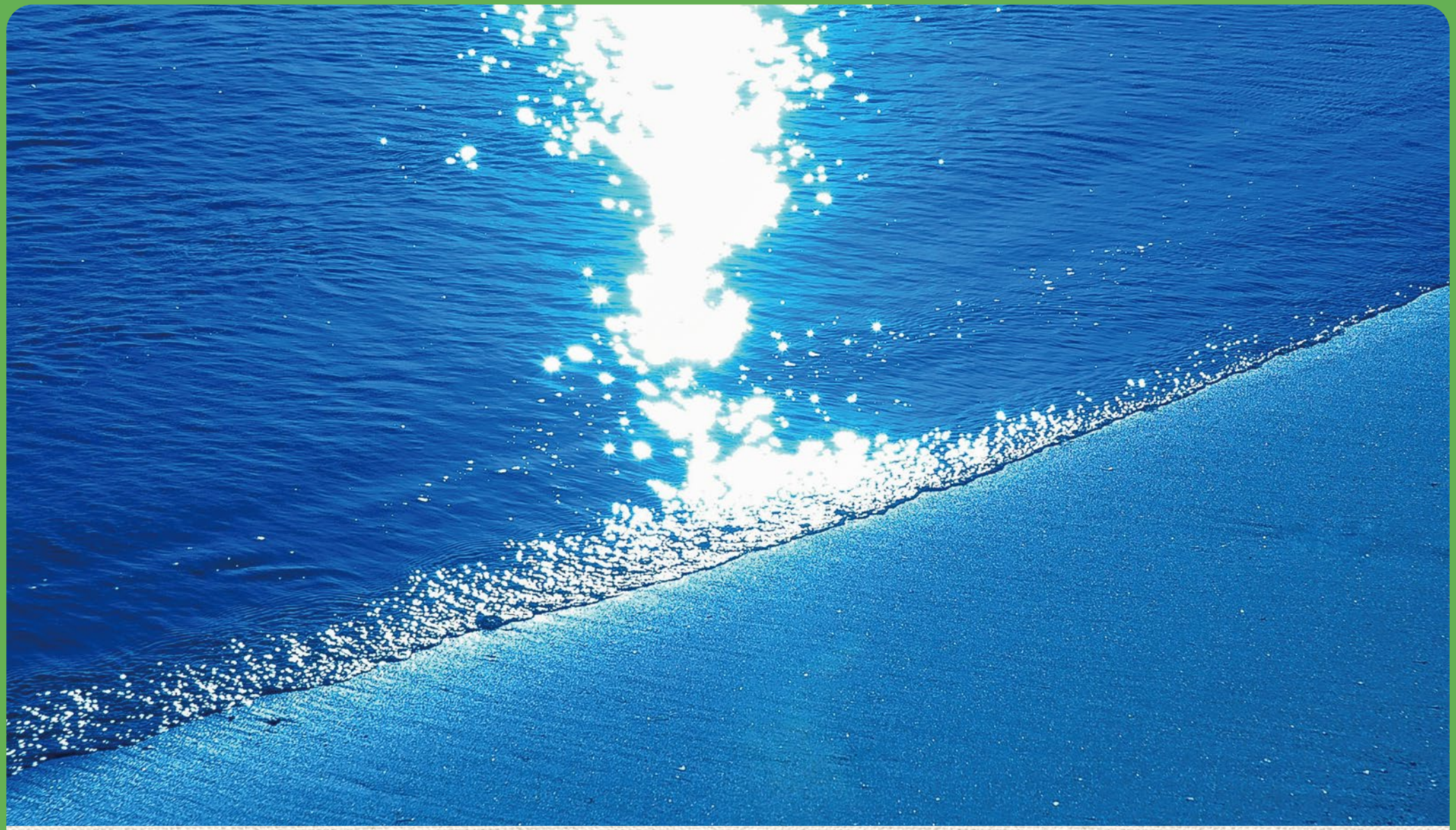
㊨「○○○○○○○」

本書の中で、「コチラもCheck!」とあるのは、『患者必携 がんになったら手にとるガイド 普及新版』で、詳しい情報・関連する情報が載っている項目を示しています。お持ちの方は、あわせてご活用ください。

※本書に記載の情報・データは、特記した以外は、2021年12月現在です。

第1部 納得して治療を受ける





1.がんについて相談する
2.情報を集める
3.治療について知る
4.県内の医療体制

第1部は、がんの疑いがあると言われてから治療が始まるまでの、不安を和らげたり、病気の理解を深めたり、治療方法の選択に必要な情報を掲載しています。また、がん相談支援センターについても紹介しています。

1. がんについて相談する

(1)がん相談支援センター

がんの治療や療養に伴う疑問や不安、生活のことに関して、患者さんやご家族と一緒に考え、情報を探すお手伝いをしています。診断や治療について判断するところではありません。

ご相談は、看護師やソーシャルワーカー(社会福祉士)などの専門の研修を受けたスタッフが対応しています。どなたでも無料でご利用いただけます。また、相談内容がご本人の了解なしに、担当医をはじめ他者に知られることはありません。安心してご相談ください。





コチラもCheck!『がんになったら手にとるガイド』

「がん相談支援センターにご相談ください」

■沖縄県内のがん相談支援センター

琉球大学病院 098-895-1507(直通)
対応日時:月～金曜日・9時～16時半

沖縄県立中部病院 098-973-4111(内線3232)
対応日時:月～金曜日・9時～17時

那覇市立病院 098-884-5111(内線127、283)
対応日時:月～金曜日・9時～17時

北部地区医師会病院 0980-54-1111(代表)
対応日時:月～金曜日・9時～17時

沖縄県立宮古病院 0980-72-3151(代表)
対応日時:月～金曜日・9時～17時

沖縄県立八重山病院 0980-87-5557(代表)
対応日時:月～金曜日・9時～16時

※上記の拠点病院(P24)以外でも、ソーシャルワーカー(社会福祉士)が様々な相談に対応しています。各病院の医療福祉相談室・地域医療連携室へお問い合わせください。

一般社団法人 沖縄県医療ソーシャルワーカー協会
https://www.msw-oaswhs.jp

(2)沖縄県医療安全相談センター

医療にかかる苦情や相談についてアドバイスや情報提供を行います。

医療安全相談窓口 098-866-1260(相談専用)
〒900-8570　那覇市泉崎1-2-2　沖縄県庁4階
沖縄県保健医療部 医療政策課内
受付時間:月～木曜日(祝日のぞく)・9時～12時、13時～17時
E-mail:iryouanzen@pref.okinawa.lg.jp

2. 情報を集める

(1)病名、性質、病期

がんと付き合っていくには、ご自身のがんの正確な「病名」、詳しい「性質」、そして「病期」を知ることが大切です。

まず「病名」ですが、肺がんという病名は、治療を考えるうえでは不十分です。肺の「小細胞がん」、肺の「腺がん」といった正確な病名を担当医から聞くことが必要になります。

つぎに「性質」です。近年では、より詳しいがんの性質や遺伝子の変異を調べる検査を行うことが多くなってきました。

がんの性質によって使用する薬剤を選択したり、その効果が事前にある程度わかるようになってきています。特に、分子標的薬や免疫チェックポイント阻害薬などのがん細胞の持つ特異的な「性質」を利用した新しい治療薬が多く使われ、効果を上げるようになってきています。

そして「病期」は、がんの進行の程度を表し、「ステージ」とも呼ばれます。病期が「Ⅰ期からⅣ期」のどれに当たるのかを担当医から聞いてください。同じがんでも、病期の違いで治療法が変わることが多いため、正しく把握することが重要です。

がんはどこから始まったのか（原発巣）、どこまで広がっているのか（浸潤や転移）についても知ってください。たとえば「S状結腸が原発巣、肝臓に転移しているが、肺には転移していない」などです。

これらの情報を確実に手に入れるために、担当医に対して「私のがんの正確な病名や詳しい性質、病期を紙に書いてください」とぜひお願いしてみてください。

面談にのぞむときの質問集 ➔P92



コチラもCheck!『がんになったら手にとるガイド』
➔「がんの病期のことを知る」

(2)担当医の説明を聞く

がんの診断がついた段階で、外来担当医が患者さんに診断名・病期・今後の治療方針などの説明を行います。このとき、ひとりやふたりではなく3〜5人で聞きましょう。ご家族や頼りになる友人に同席していただくのもよいことです。よく「家族に心配はかけたくないので、一人で聞きたい」とか「子どもが内地で働いていて同席できない」という患者さんがいますが、がんになったことは人生の一大事です。なるべく都合をつけて、今後の闘病の際に頼りになる方に同席してもらう道を探るのが大切です。

通常の外来日に説明を聞く場合、時間が十分にとれないことがよくあります。事前に担当医にお願いして、30分以上の時間をもらいましょう。それができない場合は、外来日以外に約束をして、改めて説明を聞くのもおすすめです。担当医や看護師に申し出るか、がん相談支援センターに相談してみてください。

説明された内容はメモに残すとあとの確認に便利ですが、落ち着いて話を聞くのは難しいものです。同席する人に書きとめてもらうようお願いしてみてください。担当医に聞きたいことは当日までに「面談にのぞむときの質問集」（P92）に書き出して、説明のときに携帯しましょう。

また、説明は一度限りのものではありません。1回の説明で理解したり、今後の方針を決めることがむずかしいことは、担当医も十分に理解しています。どうぞ遠慮せずに、もう一度説明をしてほしいと、担当医（または看護師やがん相談支援センター）に伝えてください。





コチラもCheck!『がんになったら手にとるガイド』
➔「医療者とよい関係をつくるには」
➔「がんに携わる“チーム医療”を知ろう」

(3)セカンドオピニオン

担当医とは別の医師の意見を聞くことを、セカンドオピニオンといいます。ここでは、①診断の確認、②治療方針の確認、③その他の治療方法の確認とその根拠を聞くことができます。担当医と同じ判断となることもありますが、それでも今の選択が正しいことが分かると、納得して治療を受ける気持ちになります。ときには医師によってすすめる治療が違う場合もあり、よりよい治療法が見つかることもあります。

担当医は、がんの診断がついた段階で、患者さんにセカンドオピニオンを聞くようにすすめることが一般的となっています。

患者さんからも「セカンドオピニオンを聞きたいので、紹介状やデータをお願いします」と担当医に伝えましょう。担当医との関係が悪くならないかと心配になるかもしれませんが、多くの医師はセカンドオピニオンを聞くことは一般的なことと理解しています。納得した治療法を選ぶために、気兼ねなく相談してください。その際は、セカンドオピニオンにおすすめの病院と専門医を複数紹介してもらいましょう。

①セカンドオピニオンの受診方法

まず、担当医に相談し、希望先の医療機関に申し込み（予約）をしましょう。次に紹介状や画像などを担当医から受け取り、予約した医療機関でセカンドオピニオンを取りましょう。取った後は、担当医に必ず報告し、その意見を参考に今後のことを相談しましょう。

②セカンドオピニオンの費用

相談料の目安として30分～1時間程度で、沖縄県内の場合1万円～2万円程度、県外では2万円～ 5万円程度となっています。また、別途診断料が発生する場合もあります。

詳しくは、沖縄県がん診療連携協議会ホームページをご覧ください。

巻頭綴じ込み、P16



コチラもCheck!『がんになったら手にとるガイド』

「セカンドオピニオンを活用する」

(4)セカンドオピニオン実施施設

（2021年10月現在）

がん診療連携拠点病院	琉球大学病院（医療福祉支援センター）	098-895-1371
	沖縄県立中部病院	098-973-4111
	那覇市立病院（地域医療連携室）	098-884-5134
地域がん診療病院	北部地区医師会病院	0980-54-1111
	沖縄県立宮古病院	0980-72-3151
	沖縄県立八重山病院	0980-87-5557
その他の医療機関	沖縄県立北部病院	0980-52-2719
	たいら内科クリニック	0980-53-0033
	中頭病院	098-939-1300
	中部徳洲会病院	098-923-1091
	ハートライフ病院	098-895-3255
	国立病院機構 沖縄病院	098-898-2121
	浦添総合病院（医療相談・医療推進室 かけはし）	098-879-0630
	宮良クリニック	098-878-3311
	沖縄赤十字病院	098-853-3134
	沖縄協同病院（地域連携課）	098-853-1201
	那覇西クリニック	098-858-5557
	那覇西クリニックまかび	098-884-7824
	与那原中央病院	098-945-8101
	沖縄県立南部医療センター・こども医療センター	098-888-0123
	友愛医療センター	098-850-3811

※沖縄県「がん診療を行う医療施設」に基づき、琉球大学病院がんセンターより各医療機関に照会の上、同意のあった医療機関を掲載しています。

(5)書籍とインターネットで情報をさがす

■推奨書籍

患者必携 がんになったら手にとるガイド 普及新版
編著:国立がん研究センター 表紙裏

■沖縄県のがん情報、がん対策に関するサイト

沖縄県がん診療連携協議会うちなーがんネット がんじゅう
https://www.okican.jp

■各種がんの診断や治療、医療機関などに関する情報サイト

国立がん研究センターがん対策情報センター がん情報サービス https://ganjoho.jp

がん情報サイト Cancer Information Japan
https://cancerinfo.tri-kobe.org
公益財団法人 神戸医療産業都市推進機構 医療イノベーション推進センターのサイトです。

■がんの予防や検診、がん患者さんやそのご家族に必要な情報サイト

公益財団法人 日本対がん協会
https://www.jcancer.jp

■希少がんについての情報サイト

国立がん研究センター希少がんセンター
https://www.ncc.go.jp/jp/rcc/

■免疫療法についての情報サイト

国立がん研究センターの免疫療法情報サービス
https://ganjoho.jp/public/dia_tre/treatment/immunotherapy/immu02.html

■こどものがんについての情報サイト

国立がん研究センター小児がん情報サービス
https://ganjoho.jp/child/

公益財団法人 がんの子どもを守る会
http://www.ccaj-found.or.jp

■がんであっても自分らしく生きるための場所情報

認定NPO法人 マギーズ東京 03-3520-9913
https://maggiestokyo.org/about
がんになった人とその家族や友人などがくつろげて、看護師や心理士などと相談もできる施設です。食事や運動、メイクやリラクセーションなど、がんであっても自分らしく生きるためのグループプログラムもあります。

信頼できるインターネット情報 巻頭綴じ込み



3. 治療について知る

(1)がん治療と療養の過程(ライフコース)



緩和ケア
病を抱える患者やその家族の身体や心などの様々なつらさを和らげ、より豊かな人生を送ることができるように支えていくケア。

寛解
治療の結果、検査上はがんが見つからなくなった状態。

非寛解
寛解が得られなかった状態。

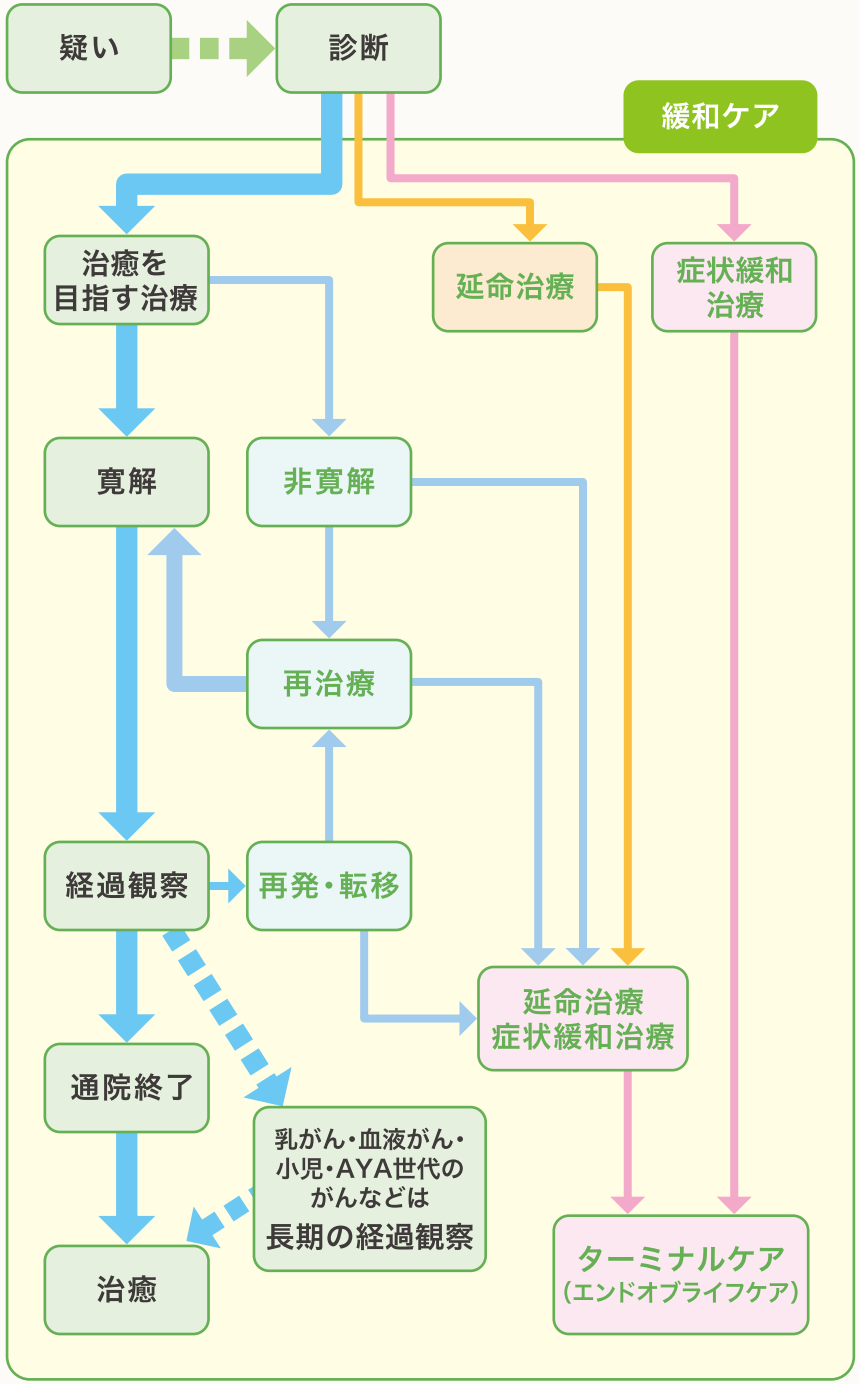
経過観察
治療後の体調変化やがんの再発がないかを確認するために通院すること。

治癒
がんが治ること。

延命治療
がんの勢いを抑えつつ、がんとうまく付き合っていく治療。

症状緩和治療
がんによる苦痛や不快感を和らげるための治療。

ターミナルケア(エンドオブライフケア)
人生の残りの時間を、最期まで自分らしく生きられるように、支援すること。



(2)標準治療と科学的根拠(エビデンス)

「標準」という言葉に、どんな意味を連想しますか？　少し意外かもしれませんが、医療の世界では、現時点でもっとも“上等”ながん治療のことを「標準治療」と呼びます。

標準治療とは、科学的根拠に基づいた観点で、現在利用できる最良の治療であることが示され、ある状態の一般的な患者さんに行われることが推奨される治療をいいます。医療においては、「最先端の治療」がもっとも優れているとは限りません。最先端の治療は、開発中の試験的な治療としてその効果や副作用などを調べる臨床試験で評価を受け、それまでの標準治療より優れていることが証明できて推奨されれば、その治療が新たな「標準治療」となります。

ただし、すべてのがんで（特に再発後の）標準治療が確立されているわけではありませんし、患者数の少ないがんでは標準治療がないものもあります。それでも多くの治療法には、何らかの「科学的根拠（エビデンス）」があるものです。また、それがない場合は、基本的に標準治療を決めるための試験である「臨床試験」として治療を行うのが通例です。治療方法が示されたときには、必ず担当医に、その治療の科学的根拠の信頼性は高いか、低いかを聞きましょう。

がん以外に心臓の病気や糖尿病などの他の疾患がある場合は、標準治療以外の治療法がよりよい選択となることがあります。標準治療以外の治療法をすすめられたときには、担当医にその理由を聞いてみましょう。



てぃんさぐぬ花や
爪先(ちみさち)に染(す)みてぃ
親(うや)ぬ諭(ゆ)し言(ぐとぅ)や
肝(ちむ)に染(す)みり
（てぃんさぐぬ花）

(3)臨床試験

「最先端の治療」が本当に効くのかどうか、安全、かつ倫理的、科学的に調べるための方法が「臨床試験」です。

臨床試験に参加するメリットは、より整った医療体制の中で、未来の標準治療を誰よりも早く受けられる可能性があることですが、一方で実際には現行の標準治療よりも効き目が高くなかったり、予想外の副作用を経験する可能性もあります。

このため、事前に専門家から十分な説明を受け、十分に納得した場合にのみ同意し、参加してください。なお、同意の後でも、治療の間でも、参加を取りやめることは可能です。

国立がん研究センターの臨床試験情報サービス
https://ganjoho.jp/public/dia_tre/clinical_trial/index.html

(4)補完代替療法

補完代替療法とは、通常、がん治療の目的で行われている医療（手術や、抗がん剤治療をはじめとする薬物療法、放射線治療など）を補ったり、その代わりに行う医療のことです。

健康食品やサプリメントがよく注目されますが、鍼・灸、マッサージ療法、運動療法、心理療法と心身療法なども含まれます。

しかし、有効性が科学的に確認されているものは現在のところありません。そのため、情報の内容や選択については、よく吟味する必要があります。

もし関心のある補完代替療法があれば、担当医に意見を求めてみましょう。



コチラもCheck!『がんになったら手にとるガイド』

- 用語の解説「標準治療」
- 用語の解説「科学的根拠に基づく医療(EBM)」
- 「臨床試験のことを知る」

(5)ゲノム医療

がんゲノム医療は、主にがんの組織を用いて多数の遺伝子を検査することにより、患者一人ひとりに最適な薬を選ぶ方法です。

以下の場合は、保険診療で検査が可能です。

①標準治療がない固形がん（希少がんや原発不明がんなど）患者
②局所進行もしくは転移が認められ、標準治療が終了となった固形がん患者（終了が見込まれる者を含む）

県内では、琉球大学病院のみががんゲノム医療連携病院の指定を受け、がん遺伝子パネル検査を行っています。まずは担当医と相談してみましょう。

国立がん研究センターのがんゲノム医療情報サービス
https://ganjoho.jp/public/dia_tre/treatment/genomic_medicine/gentest02.html

(6)妊娠の可能性を残す(妊孕性温存療法)

薬物療法や放射線治療、手術を受けた一部の患者さんでは、妊娠するために必要な臓器とその機能（＝妊孕性）がダメージを受けることが知られています。

そのような可能性のある治療をする場合は、事前に担当医から説明があります。

基本的には、がんの治療を優先しながら、将来妊娠する可能性を残す方法（＝妊孕性温存療法）を考えることになりますが、そこにはさまざまな選択肢がありますので、よく担当医と相談して、どうするのかを決めてください。

妊孕性温存療法を受けることを選択した場合は、担当医から琉球大学病院産婦人科「がんと生殖医療カウンセリング」外来へ紹介することになります。

妊孕性温存療法には以下の５つがあり、費用は以下の通りです。

①胚（受精卵）凍結　35万円
②未受精卵子凍結　20万円
③卵巣組織凍結　40万円
④精子凍結　２万５千円
⑤精子凍結（精巣内精子採取術）　35万円

１回あたりの費用で通算２回までの利用となります。

いずれも、かなり高額な医療費がかかります。

沖縄県では現在、国の「小児・AYA世代のがん患者等の妊孕性温存療法研究促進事業」を利用した妊孕性温存治療に係る費用の一部を助成する事業があります。

沖縄県がん患者等妊よう性温存療法研究促進事業について
https://www.pref.okinawa.lg.jp/site/hoken/kenkotyoju/kenko/ninyousei.html

がんとセクシャリティ P37



4. 県内の医療体制

21世紀に入り、専門医制度の確立、国内における各がん種に対するガイドラインの作成と普及、がん診療連携拠点病院制度、がん対策基本法をはじめとする法整備、がん対策推進基本計画、そして個々のがん治療医の意識変革により、我が国のがん医療は大きく変わり、進歩しました。どこに住んでいても標準治療（現在利用できる最良の治療）を受けられる体制が整い、それは沖縄県でも実現できています。

内視鏡治療、胸腔鏡下手術、腹腔鏡下手術、ロボット支援下手術、定位放射線治療、強度変調放射線治療、分子標的薬や免疫チェックポイント阻害薬による治療など、標準治療に必要な治療はすべて県内で受けることができます。

(1)がん診療連携拠点病院制度

全国どこでも質の高いがん医療を提供することができるよう、専門的ながん医療の提供、地域のがん診療の連携協力体制の整備、患者・住民への相談支援や情報提供などの役割を担う病院として、国が定める指定要件を踏まえて、厚生労働大臣が指定した病院です。

■都道府県がん診療連携拠点病院

都道府県で中心的な役割を果たす。

■地域がん診療連携拠点病院

都道府県の二次医療圏で中心的な役割を果たす。

■地域がん診療病院

がん診療連携拠点病院とのグループ指定により、二次医療圏で中心的な役割を果たす。



コチラもCheck!『がんになったら手にとるガイド』

「療養生活を支える仕組みを知る」
「地域のがん診療の連携の仕組みを知っておく」

(2)希少がんと小児がんの診療病院

希少がんとは、発生の稀ながんを示す言葉です。沖縄県内では、希少がんの診療経験が豊富な琉球大学病院での診察が推奨されます。希少がんの詳しい情報に関しては、国立がん研究センター希少がんセンターのサイトをご覧ください。

小児がんは大人のがんに比べて患者の数が少なく、こちらも診断や治療の経験が豊富な医療機関での診療が推奨されます。沖縄県内では琉球大学病院と沖縄県立こども医療センターがその医療機関にあたります。診療所を含むどこの小児科で最初の診断がされても、前述の2つの病院に紹介されることが確立されていますので、ご安心ください。

国立がん研究センター希少がんセンター P16
国立がん研究センター小児がん情報サービス P17

(3)がん診療を行う医療施設

沖縄県が令和2年度に実施した医療機能調査で、「がん診療を行っている」と回答した県内医療施設のうち、掲載要件を満たすことが確認された医療施設です。この掲載要件の選定には、がん種ごとに県内を代表する医師が集まって検討しています。専門家の検討を経て決定された掲載要件を満たした医療施設ですから、安心してお勧めできます。



いったーあんまー　まーかいがー
べーべーぬ　草刈いが
べーべーぬ　まさ草や
（いったーあんまー　まーかいがー）

(4)がん診療を行う県内医療施設一覧

(2021年10月時点)

二次医療圏	病院名	電話番号(代表番号) 郵便番号　住所	掲載要件を充足しているがん種
がん診療連携拠点病院			
県	琉球大学病院	✆098-895-3331 〒903-0215　西原町字上原207	肺、胃、乳房、子宮 肝臓、食道、前立腺 甲状腺、血液 放射線療法
中部	沖縄県立中部病院	✆098-973-4111 〒904-2293　うるま市宮里281	大腸、胃、乳房、子宮 胆道、膵臓、食道 前立腺、甲状腺、血液 放射線療法
南部	那覇市立病院	✆098-884-5111 〒902-8511　那覇市古島2-31-1	大腸、胃、乳房、胆道 膵臓、食道、前立腺 血液、放射線療法
地域がん診療病院			
北部	北部地区医師会病院	✆0980-54-1111 〒905-8611　名護市字宇茂佐1712-3	乳房
宮古	沖縄県立宮古病院	✆0980-72-3151 〒906-0013　宮古島市平良字下里427-1	
八重山	沖縄県立八重山病院	✆0980-87-5557 〒907-0002　石垣市真栄里584-1	
その他の医療機関			
北部	沖縄県立北部病院	✆0980-52-2719 〒905-8512　名護市大中2-12-3	血液
北部	たいら内科クリニック	✆0980-53-0033 〒905-0011　名護市宮里6-8-7	血液
中部	KIN放射線治療・健診クリニック	✆098-968-4664 〒904-1201　金武町字金武10897	放射線療法
中部	中頭病院	✆098-939-1300 〒904-2195　沖縄市字登川610	大腸、肺、胃、乳房 肝臓、胆道、膵臓 食道、血液 放射線療法
中部	中部徳洲会病院	✆098-923-1091 〒901-2393　北中城村字比嘉801	乳房、前立腺、血液
中部	ハートライフ病院	✆098-895-3255 〒901-2492　中城村字伊集208	胃、乳房、胆道、膵臓 血液
中部	国立病院機構沖縄病院	✆098-898-2121 〒901-2214　宜野湾市我如古3-20-14	肺、放射線療法
南部	浦添総合病院	✆098-878-0231 〒901-2132　浦添市伊祖4-16-1	大腸、胃、乳房、 肝臓、胆道、膵臓
南部	宮良クリニック	✆098-878-3311 〒901-2132　浦添市伊祖2-3-1 2F	乳房
南部	マンマ家クリニック	✆098-988-4141 〒901-2111　浦添市経塚633 メディカルKプラザ2F	乳房
南部	沖縄赤十字病院	✆098-853-3134 〒902-8588　那覇市与儀1-3-1	乳房、血液 放射線療法
南部	沖縄協同病院	✆098-853-1200 〒900-8558　那覇市古波蔵4-10-55	乳房、血液
南部	那覇西クリニック	✆098-858-5557 〒901-0154　那覇市赤嶺2-1-9	乳房
南部	那覇西クリニックまかび	✆098-884-7824 〒902-0068　那覇市真嘉比2-29-22	乳房
南部	与那原中央病院	✆098-945-8101 〒901-1303　与那原町字与那原2905	血液
南部	沖縄県立南部医療センター・こども医療センター	✆098-888-0123 〒901-1193　南風原町字新川118-1	血液、放射線療法
南部	友愛医療センター	✆098-850-3811 〒901-0224　豊見城市字与根50-5	大腸、胃、乳房、肝臓 胆道、膵臓、前立腺 放射線療法

出典：沖縄県保健医療部健康長寿課ホームページ
がん診療を行う医療施設
https://www.pref.okinawa.jp/site/hoken/kenkotyoju/cancer/documents/itiran.pdf

医師の異動等で対応できるがん種や治療の範囲が変わる可能性もあります。詳しくは各病院にお問い合わせください。

セカンドオピニオンおよび実施施設の連絡先 ➔P15

(5)離島とがん　～通院治療の選択～

■宮古島、石垣島以外の離島で暮らす方へ

地元の医療機関でできることが限られているため、心配も大きいと思います。しかし、いまは必要であれば、すみやかに地元の医療機関から必要な医療機関に紹介されます。特に前述した拠点病院（含む診療病院）は、医療だけでなくさまざまな相談に応じることができますので、離島の患者さんは積極的に利用することをおすすめします。

また、主な治療の終了後は、治療した医療機関だけでなく、地元の医療機関でも経過観察をすることが大切です。必ず地元の医療機関でも、がんの治療後の経過観察をしてもらうようにしましょう。

飲み薬での薬物療法（抗がん剤、ホルモン剤など）が必要なときは、地元の医療機関でも治療継続が可能です。主な治療を行った医療機関の医師に、地元の医療機関でどのように治療を継続していくかを相談してください。

■宮古島、石垣島で暮らす方へ

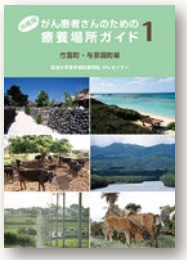
それぞれ、地域がん診療病院である県立宮古病院と県立八重山病院があります。希少がん以外のがんの治療が可能ですので、がん患者の７～８割の治療を行うことができます。また、希少がんでも、主な治療を行った病院との連携により、ほとんどの場合は治療の継続や経過観察が可能です。

さらに、前項でも述べましたが、より自宅に近い医療機関での経過観察や飲み薬での治療継続が可能なことがあります。それぞれの病院の医師に地元の医療機関でどのように経過観察、または治療を継続していくかを相談してください。

＊離島におけるがん医療については、本冊子以外に、「がん患者さんのための療養場所ガイド」があります。離島ごとの詳しい情報が記載されていますので、ご参照ください。県内のがん診療を行っている医療機関や離島・へき地診療所で配布しています。

離島やへき地に住む人向けの制度を知る P84

沖縄県 がん患者さんのための療養場所ガイド　シリーズ全8巻



1
竹富町
与那国町編



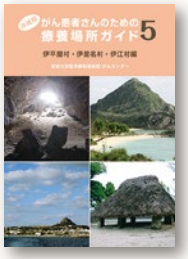
2
石垣市編



3
多良間村編



4
宮古島市編



5
伊平屋村・伊是名村
伊江村編



6
本島北部編
国頭村・大宜味村
東村・今帰仁村
本部町・名護市



7
本島周辺の離島村編
粟国村・渡名喜村
座間味村・渡嘉敷村
北大東村・南大東村



8
久米島町編

体験談

私の病床体験

左耳の下部に急に違和感を覚え、押すと痛みもあったので、近くの病院を訪れたのは2002年のこと。1週間ほど抗生剤を注射したものの改善せず、少し遠い総合病院を紹介されました。

そこでは通院による点滴での抗生物質の注入を行いましたが、腫れも引かず、痛みも増してきたため、入院の上、患部を切開して生体検査に。2週間ほどで「急性・悪性リンパ腫」とわかり、すぐに他の病院へ連絡を取ってくれて、翌日入院。今度は患部の生体と背中から取った骨髄を検査に出したところ、リンパ腫に加え、ATL（成人型T細胞白血病）もあると診断されました。

即座に無菌室に移され、そこから24時間打ちっぱなし、週5日4週間にわたる抗がん剤治療が始まったのです。考える余裕などまったくありません。毎日の処置、治療に耐えるので精一杯。それが終わると放射線治療。いわゆる「がんの標準治療」です。

これをひと通り終了して、約5ヵ月の経過観察ののち退院。しかし退院時の注意事項（人混みには行かない等）を受け、約2年間は引きこもり生活を経験しました。その後、担当医の勧めでぴあサポーターの研修や講習を受けるようになり、19年が経った今ではぴあサポーター活動にも積極的に取り組んでいます。

私は自身の体験からこう思うのです。「心の扉を開けて呼びかけてみよう。きっと誰かがあなたの声に耳を傾けてくれる!!」

（70代　男性）



同じ病気の人の話を聞いてみる P40



コチラもCheck!『がんになったら手にとるガイド』

「治療法を考える」

第2部 よりよい療養生活をおくるために





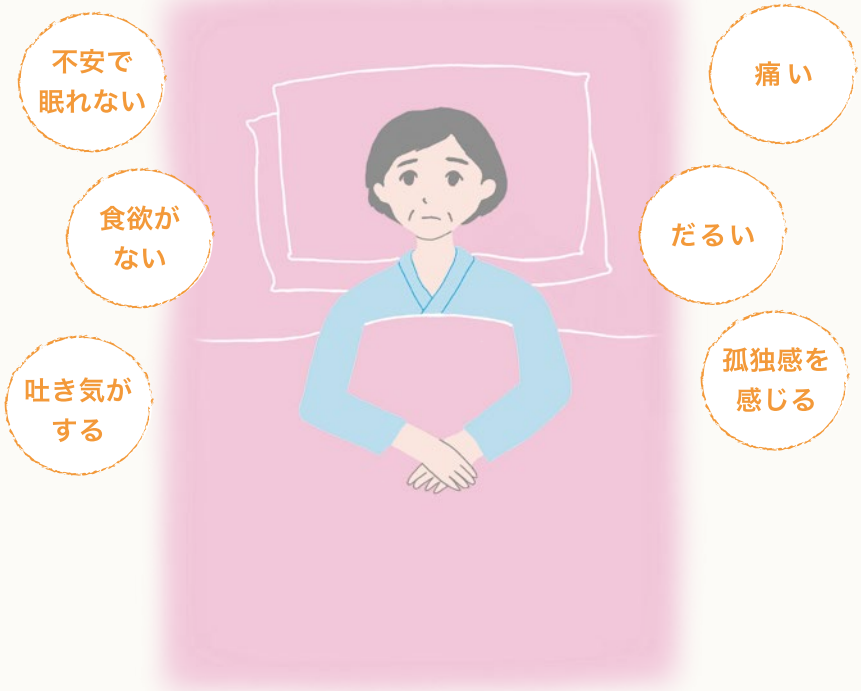
1.痛みやつらさを和らげる
2.自分らしく毎日を過ごす
3.同じ病気の人の話を聞いてみる
4.子どもの療養を支える
5.AYA世代のがんを考える
6.自宅で療養生活を続ける
7.自分らしく生きる

第2部は、がんになっても自分らしく過ごせるための緩和ケアや、在宅で療養を続けるための生活を支える仕組み（介護保険制度など）について紹介しています。また、患者会や外見ケアの情報も掲載しています。

1. 痛みやつらさを和らげる

(1)緩和ケア

緩和ケアの役割は、時期にかかわらず、がんに伴う心と体の痛みを和らげ、患者さん、ご家族が「自分らしく」過ごせるように支えることを目指します。



がんと診断されて間もない時期から、このようなつらい症状を「和らげる」ことで、それぞれの患者さんの生活が保たれるように、医学的な側面に限らず、幅広い対応をしていきます。

外来・入院・在宅でも受けられますので、まずは、がん相談支援センターに相談してみてください。

問い合わせ先 がん相談支援センター P10

(2)さまざまな身体的症状への対応

がん治療および療養中は、だるさ(倦怠感)、不眠、呼吸困難、痛み、不安・抑うつ、むくみ(リンパ浮腫)、発熱、食欲低下、味覚変化、口内炎、下痢や便秘、しびれなどの症状が現れて、思い通りに日常生活が過ごせないことがあります。

休養が必要だと感じているのに、仕事や育児、介護などのために思うように休めないときがあるかもしれません。まずは家族や周りの医療者に話してみてください。

療養中は、適度に活動しながら疲労をため込まないことが大切です。さまざまな症状に詳しいスタッフが、無理を続けないで生活していけるように一緒に考えます。遠慮なく相談してみましょう。

なお、発熱、息苦しさ、尿量の減少等が認められた場合は、早急に医療機関を受診してください。



国立がん研究センター さまざまな症状への対応
https://ganjoho.jp/public/support/condition/index.html



コチラもCheck!『がんになったら手にとるガイド』

「緩和ケアについて理解する」

2. 自分らしく毎日を過ごす

(1)外見ケア



治療による副作用（髪や眉毛の脱毛、皮膚の黒ずみ、爪の割れ）など、治療中の外見の変化が、身体的な痛みよりも大きな苦痛をもたらす場合があります。安心して治療に向き合い、がん治療をしながら社会と関わりを持った生活を送るために、外見ケアが役立つことがあります。

メイクで工夫したり、医療用ウィッグなどを扱う会社や美容室などを紹介できる場合もあります。まずは、がん相談支援センターへご相談ください。

がん相談支援センター P10
体験談「がん治療と向き合う」 P39

がん患者さんのための外見ケア小冊子
https://corp.shiseido.com/slqm/jp/cm.html

肌色変化、眉・まつ毛の脱毛などのお悩みを化粧で解決する方法についてまとめた冊子を、資生堂ライフクオリティービューティーセンターのWebサイトで公開しています。
サイトから印刷もできます。





がん治療中の方へ 気になる外見のお悩みに、メークのアドバイス

(2)がんとセクシャリティ

がんにかかったことや、がん治療を受けることで性機能障害が起きることがあります。

がんの患者さんで最も多く認められるのは性欲の減退です。男性では勃起の達成と持続が難しいこと、女性では性交時の痛みとなっています。その他にも、男性では射精できない、オルガズムを達成できない場合もあります。女性では、痛みによる性器感覚の変化、感覚の喪失や麻痺、オルガズムの達成が難しくなる場合もあります。このような明らかな症状がなくても、これまでとは何か違うなどということも含めると、セクシャリティに関する問題は多くのがん患者さんがごく普通に抱えている問題です。

まずはパートナーと率直に語り合いましょう。担当医や看護師にも相談をしてください。産婦人科医師や泌尿器科医師からの適切なアドバイスや治療により改善できるケースがあります。恥ずかしがらずに伝えてみましょう。

妊娠の可能性を残す P22



月ぬ美しゃ十日三日（かい　とぅかみーか）
美童美しゃ十七つ（みやらびかい　とうなな）
ホーイ　チョーガー
（月ぬ美しゃ）

(3)アドバンス・ケア・プランニング(ACP)

患者さんが今後の治療や療養について、あらかじめ医療者と話し合う自発的なプロセスです。患者さんの希望に応じて、家族や友人とともに行われます。このプロセスを通して、患者さんの意思が確認できなくなったときにも、それまでの意思をもとに尊厳あるその人らしい生き方を実現することを目標とします。病状や治療の変化に伴い患者さんの意思も変わることがあるので、繰り返し話し合い、その情報を家族や医療者と共有しておくことが大切です。今後のことを話し合っておくことで、将来、患者さんの意思・価値観が尊重され、自分の代わりに難しい決断をしなければいけない家族等の負担も軽くすることができます。

■自分の今後について考えてみましょう

沖縄県医師会 在宅医療とは
http://www.okinawa.med.or.jp/html/zaitaku/
「命しるべ -いのちの道標パンフレット-」をクリックしてください。



体験談

がん治療と向き合う

24歳の頃、乳がんの診断を受けました。

そのときは、がんという病気のことはもちろん、これからの治療や生活に対してたくさんの不安がありました。治療をしながら仕事を続けることができるのか、金銭的なことや体力的なこと、外見も変わってしまう……不安だらけでした。職場へ相談をしたときは、親身になって一緒に考えてくれました。勤務地や勤務形態など配慮していただき、治療をしながら仕事を続けられるよう受け入れてくれました。

手術を受け、放射線治療を行い、抗がん剤治療を開始してから間もなく、髪の毛の脱毛が始まりました。髪の毛はあっという間に抜け落ち、眉毛は薄くなり、日々外見が変わっていくことを目の当たりにしました。しかし時間が経つにつれ、少しずつ気持ちは落ち着いていき、いつしか様々なウィッグを試すなど、外見のケアを楽しむようになっていました。

ウィッグは、医療用の値段の高いものからおしゃれ用の安く買えるもの、部分ウィッグなど数豊富にあります。毎日使うものなので日々手入れをして、毛先が痛んできたら行きつけの美容室に相談をしてショートヘアにカットしてもらったり、帽子やバンダナなども使いながら工夫しました。母が編んでくれた帽子も大切に使いました。

初めの頃は違和感や人目も気になり、治療によって変わっていく外見を悲観するときもありましたが、「一生に一度のこと！この機会にしか体験できない！」と自然に気持ちが前向きになっていたように感じます。

がんは家族や友人、職場、医療スタッフ、たくさんのまわりの支えがあって乗り越えられたと思います。感謝の気持ちでいっぱいです。

（30代　女性）

同じ病気の人の話を聞いてみる P40

3. 同じ病気の人の話を聞いてみる

(1)がんピアサポーター(がん経験者による相談)

ピアサポーターのピアは仲間、サポーターは支援者という意味です。

がんピアサポーターは、がんを経験した人やその家族が、一定の研修を行った上で活動しています。

医療者や福祉関係者、あるいは行政などの専門家とは違った役割があり、病気や治療のこと、家族のこと、仕事や経済的な不安との向き合い方を相談できます。



また、自分のがんの体験を誰かに役立てたいと思っている方のための研修会も定期的に開催しています。

沖縄県地域統括相談支援センター（がんピアサポート相談室）
✆098-942-3407
FAX:098-895-1497　E-Mail:info@gansoudan-okinawa.jp
〒903-0215　西原町字上原207(琉球大学病院内3階)
HP:http://www.gansoudan-okinawa.jp
相談予約受付　月～金曜日　9時～17時
詳細はお問い合わせください。
※電話・面談どちらも対応できますが、事前にご予約をおすすめします。

(2)患者会

患者会とは同じ病気や症状、障害など、何らかの共通する患者体験を持つ人たちが集まり、自主的に運営する会のことです。お互いの悩みや不安を共有したり、情報交換をしたり、がん患者さんをサポートするための様々なプログラムを用意しています。また、社会に対する働きかけを行う活動をしているところもあります。

一般社団法人 沖縄県がん患者会連合会事務局
✆090-9780-2217　FAX:098-964-6328
「沖縄県内のがん患者会が加盟している団体です。(2010年4月発足)『悩み抱えないで、開こう心の扉！　沖縄県内のがん患者会および支援団体が手をつなぎ、がんになっても安心して笑顔で暮らせる社会を目指します』が活動目標です。各地域の患者会との情報交換、課題の共有を目指して、県内各地域でがんフォーラムや移動サロンを実施しています」
〒904-1203　金武町屋嘉2935-85
会長:田名勉　事務担当:安里香代子

■沖縄県内で活動している患者会

■小児がん

公益財団法人 がんの子どもを守る会(のぞみ財団) 沖縄支部
✆098-934-8580 / 080-3377-0373
http://www.ccaj-found.or.jp/about/branch/okinawa/
「小児がんは医学の進歩にともなって、“治る病気”になりつつあります。小児がんの患児・家族が直面している困難や悩みが少しでも軽くなるよう、多くの方々の支援のもとに活動をしている団体です」
〒904-0004　沖縄市中央2-6-39　代表幹事:片倉政人
【活動内容】交流会(年2～3回)、医療相談会(年1～2回)、病院訪問など

■胃がん

胃がん友の会(胃無胃会) ✆090-3327-0520
〒900-0013　那覇市牧志3-22-27(プロフィット牧志201)　代表:田名旭
【活動内容】相談電話・交流　日曜日:10時～17時／平日:18時～20時

■喉頭がん、咽頭がん、舌がん、食道がん、甲状腺がん(音声機能障害)

日本喉摘者連合会九州支部 沖縄県 友声会

✆ 098-933-3088 FAX:098-933-3103(担当:田名)
〒904-2171　沖縄市高原6-7-10

沖縄県身体障害者福祉協会

✆ 098-851-3455 FAX:098-851-3855(担当:末吉、仲里)
〒901-0516　八重瀬町字仲座1038-1
【活動内容】発声訓練教室、講習会（祝祭日休校）
【活動場所:日時】沖縄統合医療学院2号館2階
:毎月第1・2・3・4土曜日　14時～16時

■全がん種、がん患者家族、遺族の方

中部ゆんたく交流会 ✆ 090-9780-2217

「『がん患者さんや、ご家族が直面する身体的な苦痛や不安をお話ししませんか？　がんを経験した方同士が語り合い理解し、一人ひとりの心身の悩みを共有し、生きる望みにつなげたい』を会の目標として発足しました。現在、会員の参加が少ない上、開催場所の確保ができないために定例会はありませんが、お電話いただければ情報の共有ができます」

〒904-1203　金武町屋嘉2935-85
代表:當銘由則　事務担当:安里香代子
【活動内容】交流会
【活動場所:日時】お問い合わせください。

■婦人科がん(子宮頸がん、子宮体がん、卵巣がん、他)

沖縄県婦人科がん患者会 美ら清らcafe

✆ 090-8419-9862
E-mail:hisada.0810@icloud.com
「闘病の悩みやつらさを共有し、ひとりじゃないよと伝えたい。いつでも貴女に寄り添い一緒に泣いて笑える、そんな存在でありたいと思っています」
〒903-0121　西原町字内間411-2-4-402
事務局 久田
【活動内容】交流会・相談電話の受付
【活動場所:日時】那覇市保健所3階多目的室
:第4土曜日　14時～16時

■術後オストメイト
(人工肛門・膀胱造設の方、大腸がん、直腸がん、膀胱がんetc.)

公益社団法人 日本オストミー協会沖縄県支部

✆ 098-863-1251
「オストミー協会県支部は、毎月オストメイトの交流会を南部・中部・北部地区で開催しています。オストメイトはもちろん、そのご家族、どなたでも予約なしで自由に参加できます」
〒900-8516　那覇市西1-2-16　㈱琉球光和 ヘルスケア事業部内
担当:事務部スタッフ
【活動内容】交流会、研修会
【活動場所:日時】(株)琉球光和(3階会議室):第3金曜日　14時～16時
中頭病院(2階講義室):第1土曜日　10時半～12時半
北部地区医師会病院(2階会議室)
:第4金曜日　13時半～15時半
オストミー協会宮古支部:090-8294-4120(下地)

■乳がん

まんま宮古 ✆ 090-9781-5314

〒906-0013　宮古島市平良字下里1371-1　会長:深澤麗子
【活動内容】定例会　【活動場所:日時】会場はお問い合わせください
:第2金曜日　19時半～21時半

NPO乳がん患者の会 ぴんく・ぱんさぁ

✆ 070-5487-9721（活動時間のみ対応可能。下記参照）
E-mail:pnkpnsa@yahoo.co.jp
HP:http://www.pnkpnsa.okinawa
「私たちは、“乳がんの知識と正しい情報”の発信と、“正しい検診による早期発見”の啓発活動を目的に、地域や病院の枠を越え、沖縄県の乳がん患者みんなで活動することを目指しています」
〒901-2133　浦添市城間2-3-1　ぴんく・ぱんさぁリボンズハウス
【活動内容】相談会や交流会など
【活動場所:日時】ぴんく・ぱんさぁリボンズハウス
火・水・金曜日　13時～16時(祝日は休)
ウィッグ相談日:第2・4火曜日
ぴーち会(20代～40代の若いメンバーの会):第2水曜日
勉強会(リンパ浮腫や乳がんについて):第4水曜日

■膵臓がん

パンキャンジャパン沖縄支部（膵臓がん患者会）

✆090-4988-8729

（留守番電話に入れていただけますと、折り返しご連絡します）
HP：http://www.pancan.jp/　E-mail:pancanoki@gmail.com
〒900-0004　那覇市銘苅2-3-1　那覇市民活動支援センター内
私書箱　パンキャンジャパン沖縄支部　　支部長：島袋百代
【活動内容】現在2か月に1回の割合で患者会を開催。具体的な場所・日時は直接お電話での問い合わせをお願いします。

■多発性骨髄腫

多発性骨髄腫おきなわ患者の会

✆090-3895-6520（仲本）

「沖縄では患者数が少なく、ひとりで悩み、先行きに不安を感じていませんか。月1回みなさんと治療の悩みや新しい情報を共有しています。明日から希望を持ってがんばりましょう」
【活動内容】交流会
【活動場所：日時】ハートライフ病院2階講堂：2ヶ月に一度
お問い合わせください。

■悪性リンパ腫

一般社団法人 グループ・ネクサス・ジャパン沖縄支部

✆080-6492-2808 代表：金城

【活動内容】お問い合わせください。

■全がん種、患者家族、遺族、関係者の方、一般の方

やいまゆんたく会（八重山のがん患者を支援する会）

✆090-5729-9371（田盛）　090-8761-5475（黒島）

「患者と関係者同士の交流を深め、がんに対する正しい知識と情報を交換できるよう、講演会や勉強会などを行います」
〒907-0001　石垣市字大浜298　会長：田盛亜紀子
【活動内容】講演会と勉強会
【活動場所：日時】県立八重山病院　2F講堂　第3土曜日　14時～16時
※活動内容により場所の変更もあるので、事前にお問い合わせください。

（3）患者支援団体

■全がん種、一般の方

ゆうかぎの会（離島圏におけるがん患者支援を考える会）

✆090-9782-2371（真栄里）　090-1086-2149（池間）

「離島の負担を減らし、安心して治療ができるように、島で暮らせるようにと考え、講演会開催、患者の声を届ける活動をしています」
〒906-0202　宮古島市上野字新里242-1
事務局：真栄里隆代
【活動内容】活動内容はお問い合わせください。

■全がん種、患者家族、遺族、関係者の方

サバイバーナースの会「ぴあナース」

HP：https://peer-nurse.jimdo.com
E-mail：peer.nurse@gmail.com
「がんを経験した看護師による患者支援の会"ぴあナース"です。あなたの心に寄り添い、一緒に考え、一緒に歩みましょう」
〒900-0004　那覇市銘苅2-3-1
那覇市民活動支援センター内　ぴあナース事務局
代表：上原弘美　担当：西村克敏
【活動内容】お問い合わせはメールでお願いいたします。



かじまやー
花ぬ風車や
かじ ち みぐ
風連りてぃ廻る
わ どぅしち
我んや友連りてぃ
みぐ
なまどぅ廻る

（花ぬ風車）

(4)患者サロン

患者さんやご家族、医療者、一般の方など、がんに関心のある方が気軽に語り合う交流の場です。どなたでも参加できます。勉強会や交流会で情報交換をしたり、ミニ講座の実施などあります。

院内患者サロン名（全がん種）	連絡先	活動場所/日時
やんばるゆんたく会	北部地区医師会病院 がん相談支援センター ✆0980-54-1111（内線2150）	お問い合わせください
中部地区ゆんたく会	県立中部病院 がん相談支援センター ✆098-973-4111（内線3232）	第4木曜日 （または第4水曜日） 16時～17時
がんサロン和（なごみ）	中頭病院 ✆098-939-1300（代表）	毎週木曜日 13時～15時 1階　がんサロン室
ゆんたく会	琉球大学病院 がんセンター ✆098-895-1374（直通）	第1火曜日 14時～16時
オンライン ゆんたく会	沖縄県地域統括 相談支援センター ✆098-942-3407（直通）	第3火曜日 14時半～15時半
那覇がん患者 ゆんたく会	那覇市立病院 がん相談支援センター ✆098-884-5111（内線283）	第3水曜日 14時～15時半
がんサロン 「ぽこあぽこ」	友愛医療センター 地域連携室 ✆098-850-3811（代表）	お問い合わせください
みゃーくうむやす会	県立宮古病院 地域連携室 ✆0980-72-3151（代表）	第3水曜日 14時～16時
ぬちぐく～るやいま会	県立八重山病院 地域連携センター ✆0980-87-5557（代表）	第3木曜日 15時～16時

■院内患者会

院内患者会は、別途記載されているものをのぞいて院内患者が対象です。

活動内容は、交流会や勉強会、情報交換会など様々です。活動日時も会によって違いますので、お問い合わせください。

■乳がん

院内患者会名	病院名	連絡先
青空会	中頭病院	✆098-939-1300 （内線8984）
乳がん患者会 しあわせの会	中部徳洲会病院	✆098-923-1091
やすらぎの会	浦添総合病院	✆098-878-0231
スマイルQ	宮良クリニック	✆098-878-3311
カッコ女倶楽部（じょくらぶ）	マンマ家クリニック	✆098-988-4141
信友会	那覇市立病院	✆098-884-5111
那覇西ひまわりの会	那覇西クリニック	✆098-884-7824



4. 子どもの療養を支える

(1)入院中の教育支援、復学支援

小児がん治療は、長期入院を伴うことがあります。すべての子どもは、それぞれの成長発達に応じた教育を受ける権利を有しています。治療が優先になりがちであっても教育を受け続けることは、子ども自身が病気と闘い、退院してから元の学校に通いたいという意欲の原動力にもつながります。

■沖縄県立森川特別支援学校

沖縄県内の８つの病院には、病気やケガで長期の入院を必要とする小・中・高校生が、入院治療中でも安心して学校教育が受けられるよう、森川特別支援学校による病院内訪問学級（院内学級）が開設されています。



院内学級が設置されている病院

病院名	小・中学生	高校生
沖縄県立北部病院	○	―
沖縄県立中部病院	○	―
中頭病院	○	―
琉球大学病院	○	○
那覇市立病院	○	―
沖縄赤十字病院	○	―
沖縄協同病院	○	―
沖縄県立南部医療センター・こども医療センター	○	○

■院内学級の特色

・院内学級での一週間の学習時間は６～２７時間程度で、治療日程や体調に合わせた学習が可能です。
・授業は教室での学習を基本としますが、状況に応じて準無菌室等を含むベッドサイドでの学習にも対応しています。
・ICT（Skype等映像つきの会話が可能）を活用し、入院前に在籍していた学校や、他の病院の院内学級との交流および共同学習も行っています。また、森川本校を会場に行われる運動会や文化祭の行事にも院内学級から参加することが可能です。
・入院中は、院内学級、病院、入院前に在籍していた学校と連携し、治療中の子どもを支えていきます。

沖縄県立森川特別支援学校 ✆098-945-3008
http://www.morikawa-sh.open.ed.jp

(2)ファミリーハウス

ファミリーハウス「がじゅまるの家」は、離島や遠方から県立南部医療センター・こども医療センターなどに入院・通院する子どもとその家族が滞在できる施設です。あらかじめ「がじゅまるの家」までお問い合わせください。



ファミリーハウス「がじゅまるの家」 ✆098-888-0812
FAX：098-979-6771
〒901-1105　南風原町新川272-16
HP：http://gajyumarunoie.com
※予約の受付は午前9時～午後8時まで

(3)入院中のきょうだい支援

子どもが入院すると、親が長く病院に付き添うなど生活が一変することで、きょうだいは何かと我慢を強いられることも多く、寂しい思いや複雑な思いを抱えたりもします。

いま起こっていることや、今後の暮らしがどうなるかなど、状況を具体的に説明することで、きょうだいの安心につながることがあります。一度話すだけではなく、きょうだいとコミュニケーションを取り続けることが大切です。

きょうだいの担任教師や保育士、スクールソーシャルワーカー、部活の先生やコーチ、習い事の先生など、きょうだいを見守ってくださる方の存在はたくさんいます。親御さんだけではなく、一緒に、きょうだいのことを考えていきましょう。

小児がんの子どものきょうだいたち

きょうだいのことを考えてくださる方々と一緒に、きょうだいのきもちを聞きながら、これからのことを考えていくのに役立つ冊子です。ダウンロードできるほか、何冊でも無料で入手可能です。(送料はご負担ください)



小児がん医療相談ホットライン ✆03-5494-8159

診断・治療に関するご相談を随時受け付けています。
国立成育医療研究センター　小児がんセンター
(https://www.ncchd.go.jp/hospital/about/section/cancer/hotline.html)
相談無料(平日 10:00～16:00)

がんの子どもを守る会　相談専用電話

専門のソーシャルワーカー及び嘱託医が、小児がんに関するあらゆる相談に応じています。
(東京) ✆03-5825-6312 (平日 10:00～16:00)
(大阪) ✆06-6263-2666 (平日 10:00～16:00)

公益財団法人 がんの子どもを守る会(のぞみ財団)沖縄支部 P41

(4)晩期合併症と長期フォローアップ

小児がんは、治癒するようになってきた一方、成長や時間の経過に伴って、がん自体の影響や、薬物療法、放射線治療など治療の影響によって生じる合併症＝「晩期合併症」がみられます。適切な対処をするためには、定期的な診察と検査による長期フォローアップが必要です。診察で異常がみられた場合には、各分野の専門医と連携して治療が行われます。

妊娠の可能性を残す P22

(5)養育支援訪問事業

各市町村では、育児に関する不安や孤立感などを抱えている方などを対象に、支援員が家庭を訪問し、育児に関する様々な悩みを聞き、育児の負担感を少しでも軽減できるよう、育児や家事の手伝いや、育児に関する専門的な支援を実施しています。

問い合わせ先 各市町村児童福祉担当課

(6)一時預かり事業、病児・病後児保育事業

一時預かり事業は、保護者が病気や冠婚葬祭など、一時的に家庭での保育が難しい場合、乳児または幼児を保育所等において、一時的に預かる事業です。病児・病後児保育事業は、病気のため、保育所に預けられない子どもを医療機関等で一時的に預かる事業です。

問い合わせ先 各市町村児童福祉担当課

覚えておくとよいこと

子ども用車いすの貸出もあります。リサイクル品のため、新品ではありません。サイズ・形状はさまざまですので、まずはメールでお問い合わせください。
〒900-0004　那覇市銘刈2-3-1 那覇市民協働プラザ2階
那覇市民活動支援センター内 福祉とまちづくりを考える会　代表：福村
E-mail：fukumura2967@hi.enjoy.ne.jp

福祉用具・介護用品の貸与 P57

5. AYA世代のがんを考える

(1)AYA世代のがん

AYA世代とは、Adolescent and Young Adult（思春期・若年成人）の頭文字をとったもので、A世代（Adolescent、15～19歳）とYA世代（Young Adult、20～39歳）を指しています。この年代は、中学生から社会人、子育て世代とライフステージが大きく変化する年代であり、患者さん一人ひとりのニーズに合わせた支援が必要です。

20歳代までにかかるがんは稀なものが多く、原則としてがん診療連携拠点病院を受診することが勧められます。さらに、15～19歳は小児期のがんと同じ種類であることが多く、心身ともに発達の過程にあるため、小児科で診療を受けることが勧められています。

AYA世代ではがんの治療前に、担当医からがん治療前に妊娠するために必要な能力（妊孕性）を温存するための「妊孕性温存療法」についての説明があります。担当医と何度も面談をすることや、琉球大学病院「がんと生殖医療カウンセリング外来」で相談することが大切です。

また、親、兄弟、恋人・パートナー、子どもとの関わりは生活の中で切り離せません。悩んだときには、話しやすい医療者やがん相談支援センターのがん専門相談員に相談してみましょう。

学業の継続や仕事の継続、就職活動など、様々な問題への対応がすぐに求められることもあります。そのような方のためにがん相談支援センターがあり、すべての相談に対応していますので、積極的に利用することが重要です。

がん相談支援センター P10
妊娠の可能性を残す P22

国立がん研究センターがん情報サービス　AYA世代の人へ
https://ganjoho.jp/public/dia_tre/diagnosis/aya.html

※県外ですが以下の活動団体があります。
若年性がん患者団体 STAND UP!!　～がん患者には夢がある～
https://standupdreams.com/contact/

体験談

周りが必ずついている

私は5歳と15歳の時に白血病を患いました。5歳の時の闘病の記憶はボンヤリとしか覚えていませんが、15歳で再発と告げられたときは、5歳当時の辛かった治療の記憶が蘇り、これから始まる抗がん剤治療への恐怖と不安が私を襲いました。抗がん剤治療に対しては口の中が荒れたり、食べたいものが食べられなかったり、吐き気に襲われたりと、過去の経験から本当に不安でしかなかったのを覚えています。

しかし、担当医の先生のひと言が私を救ってくれました。先生は病室に入ってくると「僕が治すから寝ているだけでいいよ。安心して」と声をかけてくれたのです。その言葉のおかげで私は安心感に包まれ、抗がん剤治療と闘病に対する勇気が湧き、救われた気持ちになりました。

当時は高校受験の進路選択をしている最中だったので、このまま希望校にいくことができないのではないかととても心配でした。また、スポーツを高校でも続けたいと思っていた私は、入院前みたいに思い切りスポーツができるのかな？という心配もありました。しかし、母や院内学級の先生、看護師さんが親身になって進路のことも協力してくれて、治療に専念することができました。時には、看護師さんが勤務後に受験対策を一緒にやってくれたりして、本当に周りに恵まれているなと思いました。

思春期ということもあり、他の人に悩みを話したくないと思うときもありましたが、辛くなったら看護師さんや担当医の先生に話してみると、とても楽になりました。お世話になった周囲の方々に感謝の気持ちでいっぱいです。

現在は、幼い頃から憧れていた職業に就き、日々奮闘しています。

（20代　男性）

入院中の教育支援、復学支援 P48
子ども向けの制度を知る P88

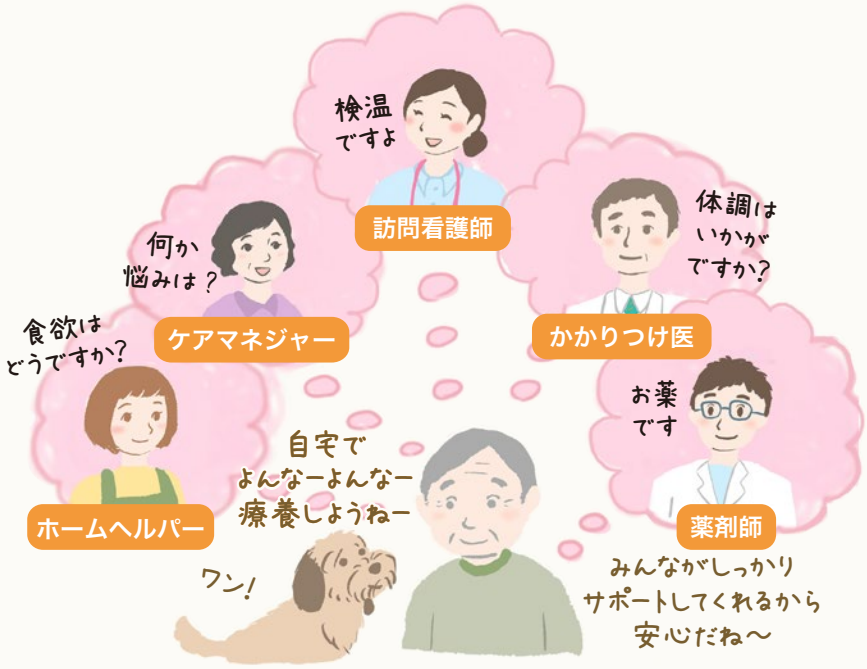
6. 自宅で療養生活を続ける

(1)在宅療養

在宅療養では、専門的な知識を持った訪問診療医(かかりつけ医)や訪問看護師、薬剤師、ケアマネジャー、ホームヘルパーなどが患者さんの生活のペースを守りながら協力してサポートします。在宅療養を希望する場合は、かかりつけの病院の相談室・地域医療連携室、もしくはがん相談支援センターにご相談ください。他にも、訪問歯科診療、訪問リハビリテーション、栄養士のサポートが地域によってはあります。

問い合わせ先:がん相談支援センター P10

沖縄県在宅緩和ケアマップ
https://www.okican.jp/med_search/
沖縄県内の在宅療養支援診療所および訪問看護ステーションを検索できます



(2)訪問診療

訪問診療とは、通院困難な患者さんのもとに医師が定期的に訪問して診察、処置・投薬や体調管理等を行います。

体調の変化や緊急時には、必要に応じて臨時訪問(往診)や、専門分野の医師や病院と連携しての治療法の相談、入院の手配などをします。

また日頃からケアマネジャー(介護支援専門員)、訪問介護スタッフや訪問看護ステーションと連携を取りながら、患者さんが安心して療養生活を送ることができるよう支援します。

費用は医療保険を利用することができます。具体的な医療費については、担当する医療機関にお問い合わせください。

医療費の負担を減らす P66

(3)訪問看護

訪問看護とは、病気や障害を持った人が住み慣れた地域やご家庭で、その人らしく療養生活を送れるように、看護ケアを提供し、自立を促す援助を行うサービスです。

医師の指示のもと、関係機関と連携を図りながら、24時間365日、在宅での療養生活を支援します。

費用は医療保険や介護保険の各種制度を利用することができます。

医療費の負担を減らす P66

覚えておくとよいこと

訪問診療・看護を希望する場合は、がん相談支援センターまたは、かかりつけの病院のソーシャルワーカー、ケアマネジャーにご相談ください。

がん相談支援センター P10



コチラもCheck!『がんになったら手にとるガイド』

「在宅医療、在宅での療養生活を支える仕組み」
「介護保険の申請から利用まで」

(4)介護保険

在宅で療養していると、人の助けや福祉用具（ベッドや車いすなど）が必要になることがあります。そのようなときの支援のひとつに、介護保険制度があります。介護保険の対象になると、介護度に応じて、介護保険サービスを総費用の1割から3割の自己負担で利用することができます。

覚えておくとよいこと

介護保険は、申請をして要介護認定を受けるまでには、1ヶ月ほどかかります。早めに申請することをおすすめします。

問い合わせ先 各市町村介護保険担当課

【介護保険の対象・サービス内容】

■対象

①（第1号被保険者）65歳以上の被保険者で、入浴・排泄・食事などの日常生活動作について、介護を必要とする状態にある方、あるいは虚弱な状態であって要介護状態とならないために適切なサービスを受けることが必要な方。

②（第2号被保険者）40歳～65歳未満の医療保険に加入している方で、16の特定疾病に該当し、介護を必要とする場合。

※16の特定疾病には、医師が「がんで回復の見込みがない状態に至った」と判断した方も含まれます。

■受けられるサービス

認定審査によって要介護状態区分が決定します。ケアマネジャーと相談し、次のようなサービスが受けられます。

在宅サービス	訪問介護、訪問入浴、訪問看護、訪問リハビリ、居宅療養管理指導（医師、薬剤師、栄養士）、デイケア、デイサービス、福祉用具、住宅改修など
施設サービス	介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設等

(5)福祉用具・介護用品

福祉用具・介護用品が必要になったとき、沖縄県社会福祉協議会には実物が展示されており、選定や取り扱い方などを相談できるほか、介護講座なども開催しています。（販売・レンタルは行っていません）

また、一部の市町村の社会福祉協議会では特殊寝台（ベッド）・褥瘡（床ずれ）予防マット・車イス・杖・歩行器などを貸与することができます。ただし、福祉用具・介護用品の貸与等の実施の有無や対象者、貸付期間、自己負担額などは市町村によって異なります。

用具の給付等については、各市町村の社会福祉協議会、また介護保険や障害福祉サービスでも利用できますので、各市町村の介護・福祉の担当課へお問い合わせください。

福祉サービスの内容 P87

沖縄県社会福祉協議会
沖縄県介護実習・普及センター
https://www.okishakyo.or.jp/kaigozisyu/

各市町村の社会福祉協議会一覧
https://www.okishakyo.or.jp/市町村社協一覧/

(6)高齢者の相談窓口（地域包括支援センター）

高齢者等（介護保険対象者含む）の総合相談や権利擁護のための相談窓口です。介護保険サービスに関することや、日常生活での困りごとについてご相談できます。各市町村の地域包括支援センターへご相談ください。

沖縄県内の地域包括支援センター
https://www.pref.okinawa.jp/site/hoken/seishinhoken/documents/documents/tiikihoukatusiencenter.pdf

(7)介護タクシー

ホームヘルパー 2級以上の資格を取得した乗務員等が、病院や施設などへの送迎、観光や冠婚葬祭など、介護を必要とする方々を車いす（座った状態）やストレッチャー（横になった状態）で、移動できる手段を提供します。

利用する際は予約が必要ですので、下記の連絡先にお問い合わせください。また、利用料金やサポート料金なども事前に確認しましょう。



地　区	会社名	電　話
中部 南部	沖縄県福祉介護タクシー事業協同組合	0120-356-194
八重山地区 (石垣島)	ゆいケアサービス	0980-84-3939
	あずまタクシー	0120-8349-54

※掲載は主な事業所です。



だんじゅかりゆしや

サーかりゆし

いら　み
選でぃ差し召しぇる

ふに　ちなとぅ
船ぬ綱取りば

かじ　まとぅむ
風や真艫

サーサーかりゆし

（だんじゅかりゆし）

体験談

骨髄移植を経て

私は介護の仕事をしながら、娘たちの子育てに毎日奮闘しつつも幸せに過ごしていました。下の双子の娘たちが2歳になった頃、「なんだか最近すごく疲れるなぁ」と思ったのですが、日々の生活の疲れだろうとあまり気にせずにいました。

そんなある日、夜中に具合が悪くなって救急で病院へ。血液検査の結果は、MDS骨髄異形成症候群。聞き慣れない病名でしたが、看護師をしている当時23歳の長女の様子を見て、ことの重大さを感じました。もちろん落ち込みはしましたが、「子どもたちのためにも必ず治すんだ！」という強い気持ちで治療を始めました。

骨髄移植という治療を選択しましたが、父がアメリカ人の私は、適合するドナーを見つけることが難しく、結果は長女から骨髄移植をしてもらうことに……。しかし、娘の骨髄も半分しか適合しておらず、移植後も拒絶反応に悩まされ、つらい闘病生活が続きました。

「なぜ私がこんな思いをしなきゃいけないのか」と、くじけそうになる時もありました。一番つらかったのは身体よりも、小さな娘たちとほとんど会えなかったことです。でも、私の不在の間、夫が子育てをし、娘たちの様子を携帯電話の動画でこまめに送ってくれていました。長女は妹たちの保育園のために、かわいいキャラ弁当を毎週作りに来てくれました。主人の実家、私の実家、みんなの支えがあり、10ヶ月の入院生活を経て退院することができました。

退院後も週3日、透析の治療を受けています。病気前の生活に100%戻れたわけではありませんが、私には病気を通して初めて感じることがたくさんありました。今は周りの人々への感謝の気持ち、当たり前の生活ができる日々の幸せをかみしめながら生きています。

（40代　女性）

がんになった親を持つ子どもへのサポート情報サイト「ホープツリー」
https://hope-tree.jp/

7. 自分らしく生きる

(1)終末期における緩和ケア(ターミナルケア)

ターミナルケアとは、病気の回復が見込めなくなったとき、患者さんに残された時間の苦痛を和らげ、その人らしい生活をおくってもらうために行われるものです。エンドオブライフケアとも呼ばれます。

緩和ケア病棟(ホスピス)と在宅療養があります。

緩和ケア病棟では、トータルペインの視点でケアの提供を行い、患者さんやご家族が過ごしやすい設備を整えています。

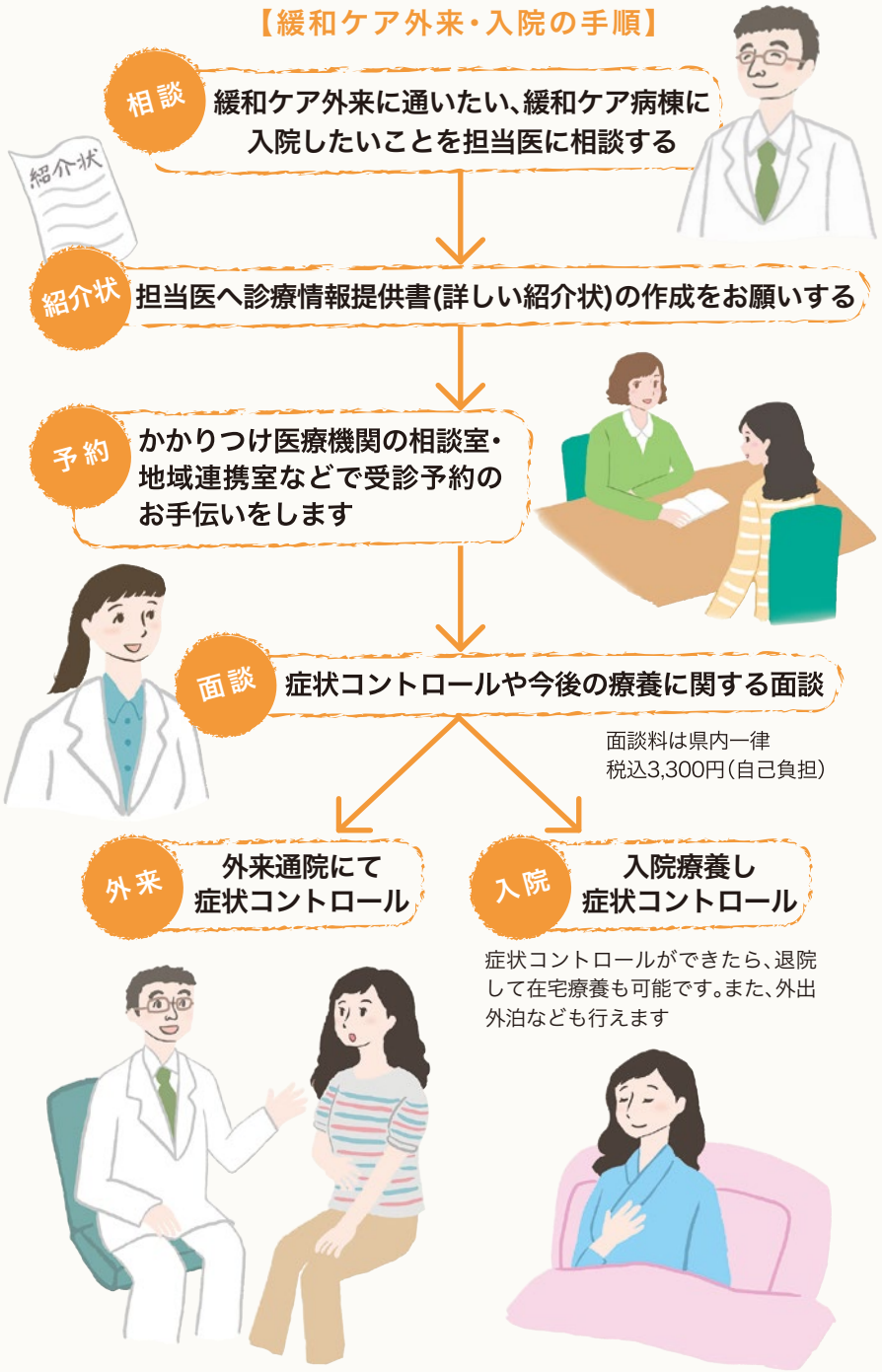
■緩和ケア病棟(ホスピス)のある医療機関

施設名	連絡先	外来
与勝病院(地域医療連携室)	✆098-978-5237 うるま市勝連南風原3584	—
国立病院機構 沖縄病院	✆098-898-2121 宜野湾市我如古3-20-14	○
アドベンチストメディカルセンター	✆098-946-2833 西原町幸地868	○
オリブ山病院	✆098-886-5567 那覇市首里石嶺町4-356	○
沖縄赤十字病院	✆098-853-3134 那覇市与儀1-3-1	○ (要相談)
豊見城中央病院 ※南部病院は2020年に移転し、豊見城中央病院に改称	✆098-851-0501 豊見城市字上田25	—

沖縄県医療計画には、在宅での看取りに対応する医療機関が掲載されています。

医療施設一覧(沖縄県保健医療部医療政策課ホームページ)
https://www.pref.okinawa.jp/site/hoken/iryoseisaku/medicalfacilities3.html

【緩和ケア外来・入院の手順】



(2)グリーフケア

グリーフとは、深い悲しみを意味します。身近な人と死別して悲しみに暮れる方が、そのつらさから立ち直れるように、そばにいて支援することをグリーフケアと呼びます。一方的に励ますのではなく、相手に寄り添う姿勢を大切にしています。グリーフケアを行っている機関は下記のとおりです。

グリーフワークおきなわ(GWO) ✆080-4316-0847
E-mail:griefokinawa@gmail.com
HP:https://griefworkokinawa.ti-da.net

グリーフケアの会 ～大切な人を亡くした人々のつどい～
✆098-890-2490
〒901-2223　宜野湾市大山2-32-21
E-mail:grief@shinran-oki.org
HP:https://shinran-oki.org/grief-care.html

グリーフケア・沖縄 ✆090-6146-5054（担当:中川）
E-mail:info@mothership2012.org
HP:http://griefcare.okinawa/

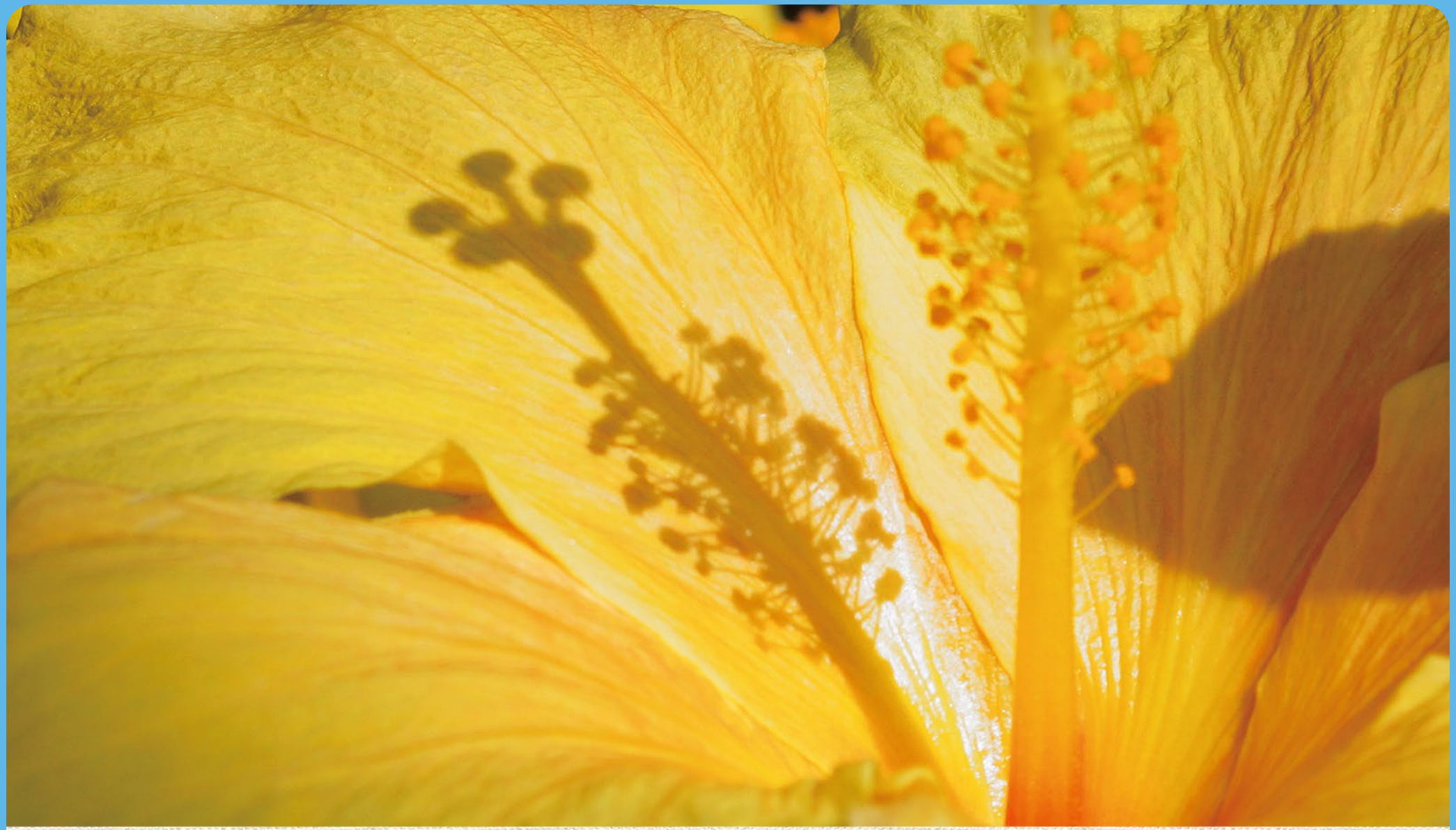


白雲ぬ如に（しらくむ ぐとぅ）　見ゆるあぬ島に
飛び渡てぃみぶしゃ（とぅ わた）　羽ぬ有とーてぃ（はに あ）

（白雲節）

第3部
お金のことについて





1.医療費の負担を減らす
2.治療を受けながら働く
3.仕事を辞めて治療に専念する
4.家庭の状況に合う支援を受ける
5.離島やへき地に住む人向けの制度を知る
6.障害についての支援を受ける
7.子ども向けの制度を知る

第3部は、治療費の負担を軽くする各種制度や、生活状況にあった支援制度について紹介しています。

1. 医療費の負担を減らす

(1)高額療養費制度



高額療養費制度は、治療費の自己負担額の限度額を定め、限度額を超える部分を払い戻す制度です。患者さんはいったん自己負担額を支払うことになるので、事前に高額療養費限度額適用認定証（P69）を申請することで、払い戻しではなく、あらかじめ支払いの額を抑えることができます。

保険が適用される医療費であれば、入院・通院・在宅医療を問わず対象になります。なお高額療養費制度での自己負担の限度額は、次ページの表のように年齢や収入によって異なります。

申請方法・必要な書類は、ご加入の医療保険によって異なります。保険証に記載の保険者にお問い合わせください。国民健康保険は、市町村の担当窓口でご確認ください。

問い合わせ先 加入している各医療保険の窓口 P90

□70歳未満の方の場合

①月毎（1日～月末）の計算となります。(食費や差額ベッド代、医療保険のきかない診断書は含まれません)

②同じ医療機関ごとに計算します。外来（在宅医療を含む）での医療費と入院費、医科と歯科は別々に計算します。

③同じ人が同じ月に、21,000円以上の自己負担額が2件以上あるときは、合わせて計算し、自己負担限度額を超えた金額が払い戻されます。例は右記の図をご覧ください。

④外来での費用は、病院の外の薬局での費用も含みます。

⑤自己負担分を超えた払い戻しがある方には各医療保険より後日、通知があります。

（2021年12月現在）

高額療養費/自己負担限度額（1ヶ月分）

区分		一部負担金の額（自己負担限度額）	1年間に4回以上あるとき4回目から	食事の標準負担額（1食）
ア	年収約1,160万円以上	252,600円＋(医療費－842,000円)×1%	140,100円	460円
イ	年収約770万～約1,160万円	167,400円＋(医療費－558,000円)×1%	93,000円	
ウ	年収約370万～約770万円	80,100円＋(医療費－267,000円)×1%	44,400円	
エ	年収約370万円未満	57,600円		
オ	住民税非課税者	35,400円	24,600円	210円（90日まで） 160円（過去12ヵ月で91日以上）

例 47歳男性 限度額区分：エ（年収約370万円未満）

	A病院	A病院	B薬局	C病院
	入院して手術	化学療法で外来通院		放射線治療で通院
医療費10割	1,000,000円	50,000円	30,000円	50,000円
自己負担3割	300,000円	15,000円	9,000円 ※合計24,000円	15,000円 ※21,000円を超えないため合算不可

【自己負担限度額】 57,600円

【払い戻される額】 (300,000円＋15,000円＋9,000円)－57,600円＝266,400円

※注意：世帯での合算は各医療保険窓口へご確認ください。

□70歳以上の方の場合（後期高齢者医療の方も含む）

①月毎（1日～月末）の計算となります。（食費や医療保険のきかない診断書は含まれません）

②以下の表のように外来のみの場合と入院＋外来の場合で自己負担限度額が異なります。病院、診療所、訪問診療、訪問看護など、かかった医療費のすべてを合算し、自己負担限度額を超えた金額が払い戻されます。

③外来での費用は、病院の外の薬局での費用も含みます。

④払い戻しがある方には各医療保険より後日、通知があります。

（2021年12月現在）

高額療養費/自己負担限度額（1か月分）

適用区分	ひと月の上限額		多数回該当（1年間に4回以上）の場合	1食あたりの標準負担額
	外来（個人ごと）	外来・入院（世帯）		
年収約1160万円～	252,600円+（医療費−842,000円）×1%		140,100円	460円
年収約770万円～約1160万円	167,400円+（医療費−558,000円）×1%		93,000円	460円
年収約370万円～約770万円	80,100円+（医療費−267,000円）×1%		44,400円	460円
年収156万円～約370万円	18,000円（年144,000円）	57,600円	44,400円	460円
低所得者Ⅱ 住民税非課税世帯	8,000円	24,600円	適用なし	210円（過去1年間の入院日数が90日を超えた場合）160円
低所得者Ⅰ 住民税非課税世帯（年金収入80万円以下）	8,000円	15,000円	適用なし	100円

（2）高額療養費限度額適用認定証（以下、限度額認定証）



限度額認定証を医療機関等に提示することで、病院や薬局での支払いが一定の金額（自己負担限度額）に抑えられる制度です。

覚えておくとよいこと

①限度額認定証の申請をした月の初日から有効です。

②病院等の窓口へ提示が必要です。忘れた場合、いったん医療費は自己負担となり、後日払い戻しとなります。

③発行まで一週間程度かかります。時間に余裕をもって申請しましょう。

加入している各医療保険の窓口 P90

■申請手続きについて

70歳未満の方や、70歳以上で非課税世帯の方については、加入する医療保険の窓口で事前に交付申請の手続きをする必要があります。それ以外の方は、特に申請手続きの必要はありません。

（3）標準負担額減額認定証

市町村民税が非課税などによる低所得者の方のみが対象で、自己負担限度額と入院時の食事費用が抑えられる制度です。

覚えておくとよいこと

①限度額認定証と一緒に手続きをして、あわせて1枚の認定証を受け取りましょう。

②申請した月の初日から有効です。

③申請を忘れたり、病院窓口への提示を忘れると、後日払い戻しがないので注意してください。

加入している各医療保険の窓口 P90



コチラもCheck!『がんになったら手にとるガイド』

「治療にかかる費用について」
「公的助成・支援の仕組みを活用する」

(4)高額療養費貸付制度

高額療養費が支給されるまでの間、自己負担分の立て替えが難しい時に、高額療養費支給見込み額の８割から10割を無利子にて貸し付けを行う制度です。医療費を支払う前に手続きが必要です。

限度額認定証の手続きを忘れたり、複数の医療機関で高額な医療費の支払いがあるときなどにも利用できる制度です。ただし、加入する医療保険によっては利用できない場合もあります。

加入している各医療保険の窓口 P90

(5)高額医療・高額介護合算制度

医療の「高額療養費制度」と介護の「高額介護・高額介護予防サービス費」の両方を利用した上で、合わせた総額が１年間に一定額を超えた場合に払い戻しを受けることができます。

①世帯内の同一の医療保険の加入者が対象です。

②費用は、毎年８月１日から翌年７月31日までの１年間で計算されます。

加入している各医療保険の窓口 P90

(6)確定申告による医療費等の控除

１年間に自己または自己と生計をひとつにする親族に、一定額以上の医療費および介護費用などの自己負担があった場合は、所得税を軽減できます。

覚えておくとよいこと

①該当しそうな領収書やレシートは捨てずに必ず保管しましょう。

②高額療養費制度では対象とならない医療費も該当します。

③会社などの年末調整とは別に、自分で税務署か市町村役場にて確定申告をする必要があります。

居住地の市町村役場か、居住地を管轄する税務署 P91

申告時期　所得税の確定申告期間(毎年2月16日～3月15日)に行う

(7)その他の制度

■ 四肢のリンパ浮腫治療のための弾性着衣等にかかる療養費の支給

リンパ節郭清を伴う悪性腫瘍の術後に発生する四肢のリンパ浮腫、または原発性の四肢のリンパ浮腫の治療のために、医師の指示に基づき購入する弾性ストッキング、弾性スリーブ、弾性グローブおよび弾性包帯が支給対象になります。

□ 支給対象となる疾病

鼠径部(そけいぶ)、骨盤部、もしくは腋窩部(えきかぶ)のリンパ節郭清を伴う悪性腫瘍の術後に発生する四肢のリンパ浮腫、または原発性の四肢リンパ浮腫、慢性静脈不全による難治性潰瘍

□ 支給回数

１度に購入する弾性着衣は、洗い替えを考慮し、装着部位ごとに２着を限度とします。

※弾性包帯の場合は、２巻を限度とします。

※弾性着衣の着圧は経年劣化することから、前回の購入後６ヶ月経過後において再度購入した場合は療養費として支給されます。

□ 支給額

上限額		
	弾性ストッキング	28,000円 (片足用の場合25,000円)
	弾性スリーブ	16,000円
	弾性グローブ	15,000円
	弾性包帯 (医師の判断により弾性着衣を使用できないと認められる場合に限り支給対象となる)	上肢7,000円 下肢14,000円

□ 申請に必要な書類

・療養費支給申請書
・弾性着衣等装着指示書
・弾性着衣等を購入した際の領収書(原本)または費用の内訳がわかる書類

問い合わせ先 加入している各医療保険の窓口 P90

■ 志村大輔基金

白血病などの血液疾患治療中で高価な分子標的治療薬を服用している患者さんの治療費、精子保存にかかる採取・保存費用、採取にかかる交通費の一部を助成しています。問い合わせ先はP73に。

【助成の対象】

①血液疾患の治療中で、分子標的治療薬を服用中の70歳未満の方とその家族

②今後、造血細胞移植や抗がん剤治療を開始予定で、精子保存を希望される45歳以下の男性患者

■ こうのとりマリーン基金

白血病などの血液疾患治療中で造血細胞移植や抗がん剤治療を行う予定の女性に対し、未受精卵子の採取・保存費用の一部を助成しています。問い合わせ先はP73に。

【助成の対象】

①造血細胞移植や抗がん剤治療を開始予定で、未受精卵子保存を希望される、または保存された方

②日本国内に居住し、日本国内で治療中であること

③卵子採取時35歳以下で未婚の方



■ 佐藤きち子記念 造血細胞移植患者支援基金

白血病などの血液疾患治療のため、造血細胞移植を受ける患者さんの移植に関わる医療費など、入院に伴い直接必要となる費用の一部を助成しています。

【助成の対象】

①造血細胞移植を望みながら、経済的理由により実施が困難な患者さんとそのご家族

②日本国内に居住し、国内で造血細胞移植を受けようとしていること

■ 志村大輔基金
■ こうのとりマリーン基金
■ 佐藤きち子記念 造血細胞移植患者支援基金

【助成の条件】

世帯の収入が当基金の定める額を超えていない方。審査があります。

【問い合わせ先】

全国骨髄バンク推進連絡協議会 ✆03-5823-6360
〒101-0031 東京都千代田区東神田1-3-4 KTビル3F
FAX:03-5823-6365 https://www.marrow.or.jp/

■ 公益財団法人 HLA研究所「淳彦基金」

造血幹細胞移植が必要な患者さんで経済的に困難な事情のある方へ、HLA検査費用を援助しています。ただし「HLA研究所」での検査費用に限ります。申し込みは担当医から行う必要があります。

基金についてのお問い合わせ・申し込みは「淳彦基金を育てる会」事務局へ。

【問い合わせ先】

「淳彦基金を育てる会」事務局 ✆042-523-0571
〒190-0023 東京都立川市柴崎町3-5-27 高田商事㈱内
FAX:042-524-3311
HP:https://hla.or.jp/med/atsuhiko/

2. 治療を受けながら働く

がんは長く治療と向き合う病気になりつつあります。がんと言われたから、病気だから、入院するからといって、すぐに会社を辞めることはありません。仕事を辞めることなく、法定の休暇制度や会社内の休暇制度を利用することによって、治療を続けることができる可能性があります。現状ではがんに特化した休職制度はありませんが、担当医ともよく相談しながらご自身の治療計画に合わせて、就業計画を立てることが大切です。必要に応じて産業医や産業保健師、職場の人事関係担当者、がん相談支援センターの相談員、労働局の総合労働相談コーナーへ相談できる場合もあります。

家庭の状況に合う支援を受ける（傷病手当金） P80

(1) 医療機関での就労相談

がんになっても安心して働けるように、就職支援ナビゲーターや社会保険労務士がソーシャルワーカーと協働して相談に応じます。

■ハローワーク那覇・ハローワークプラザ沖縄

担当者が琉球大学病院・那覇市立病院のがん相談支援センターに出張し、予約により定期相談を行っています。その他のがん診療医療機関でも随時対応可能ですので、各病院の相談窓口へお問い合わせください。

P11、P26

■沖縄産業保健総合支援センター（社会保険労務士による出張相談）

相談は予約制です。ご予約は、各がん相談窓口まで。 P11、P26

出張先施設	対応日（祝日のぞく）	相談時間
琉球大学病院	第1・3金曜日	13時～16時
那覇市立病院	第2水曜日、随時	13時～16時

以下の病院も相談可能です（要予約）。

沖縄県立中部病院	北部地区医師会病院	沖縄県立宮古病院
沖縄県立八重山病院	中頭病院	浦添総合病院
おもろまちメディカルセンター	沖縄赤十字病院	沖縄協同病院

(2) 治療と仕事の両立支援

■沖縄産業保健総合支援センター

治療を受けながら仕事を続けたい方、両立支援に取り組む事業者の方からの相談に、保健師、社会保険労務士の両立支援の知識を有した専門家（両立支援促進員）が、医療機関（主治医など）と連携してあなたと会社（事業者、人事労務担当者など）の間の調整支援をいたします。窓口、電話、FAX、メール等によりご相談（無料）ください。
利用時間：平日8時30分～17時15分
※窓口相談は事前予約

098-859-6175 FAX：098-859-6176
メール相談：24時間受付
https://www.okinawas.johas.go.jp
〒901-0152 那覇市字小禄1831-1 沖縄産業支援センター２階

■ハローワーク那覇・ハローワークプラザ沖縄

就職支援・相談の経験が豊富な専任「就職支援ナビゲーター」がマンツーマンで、みなさまの就職・キャリア形成を支援します。

ハローワーク那覇 098-866-8609 42＃
利用時間：平日8時30分～17時15分
〒900-8601 那覇市おもろまち1-3-25
沖縄職業総合庁舎 3階 相談支援コーナー
長期療養者就職支援窓口

ハローワークプラザ沖縄 098-939-8010
利用時間：平日8時30分～17時15分
〒904-0004 沖縄市中央2-28-1
沖縄市雇用促進等施設 3階（BCコザ）
職業相談第2部門
（長期療養者就職支援窓口）





コチラもCheck!『がんになったら手にとるガイド』

「社会とのつながりを保つ」

(3)労働問題全般についての相談

■沖縄労働局総合労働相談コーナー

県内の労働局、労働基準監督署内で、労働問題の専門家が無料で相談に応じています。相談内容によっては、担当窓口をご案内する場合があります。
受付時間：平日9時～17時（正午から13時までのぞく）

✆ 098-868-6060
那覇第2地方合同庁舎1号館3階　沖縄労働局雇用環境・均等室内

■沖縄県女性就業・労働相談センター

「労働相談事業」では、労働に関する問題について労使双方から幅広く相談（電話・窓口相談）に応じています。
受付時間：月曜日～土曜日　９時～20時

フリーダイヤル（通話料無料）　✆ 0120-610-223

■沖縄県社会保険労務士会　総合労働相談所

労働問題全般に関する相談に、社会保険労務士が無料で対応します。相談は第1水曜日・第３土曜日（祝日のぞく）の14時～16時、電話か来所。来所の場合は事前に電話またはFAXでご予約をお願いします。
受付時間：平日9時～16時

✆ 098-863-4395　FAX:098-863-3563

(4)生活から就職までの総合相談

■グッジョブセンターおきなわ

みなさまの「働きたい」「雇用したい」を応援します。若年者、中高年齢者、子育て中の女性、さまざまな理由で長い間就職できずにお困りの方や生活に不安を抱える方など、さらには事業主の方をサポートします。

グッジョブセンターおきなわ　✆ 098-865-5006
https://gjcenter.jp
利用時間：平日（祝日、年末年始をのぞく）　9時～17時
〒900-0021　那覇市泉崎1-20-1 カフーナ旭橋 A街区 6階

グッジョブセンターおきなわ 中部サテライト　✆ 098-923-0078
利用時間：平日（祝日、年末年始をのぞく）　9時～17時
〒904-0004　沖縄市中央2-28-1
沖縄市雇用促進等施設3階（旧コリンザ3階）

(5)女性の就業相談、仕事と子育ての両立などの相談

■沖縄県女性就業・労働相談センター（グッジョブセンターおきなわ内）

「女性のおしごと応援事業」では、働きたい、働き続けたい女性を総合的に支援するため、相談窓口の設置や、キャリアアップセミナー、内職求人情報の案内などを行っています。

✆ 098-863-1788　相談時間：平日9時～17時
✆ 0120-633-993　（電話相談フリーダイヤル）

■母子家庭等就業・自立支援センター

ひとり親世帯および寡婦（40歳以上の独身女性で、かつてひとり親として児童を扶養していたことのある方）を対象に、就業相談、就業支援講習会、求人情報の提供などを行っています。

✆ 098-887-4099
相談日：平日（祝祭日・慰霊の日・旧盆・年末年始のぞく）
相談時間：8時30分～17時

(6)働くがん患者の支援団体、冊子

一般社団法人CSRプロジェクト
http://workingsurvivors.org/
がん治療に伴う経済的な不安や雇用に関する不安など、電話相談にも対応しています。電話相談は事前に、ホームページからの予約が必要です。

がんと仕事のＱ＆Ａ　第３版
https://ganjoho.jp/public/institution/qa/
体験者からの声を元に作られたＱ＆Ａ集です。体験者からのアドバイスやコラム、役立つ資料も掲載されています。国立がん研究センターがん対策情報センターの「がん情報サービス」サイトからダウンロード可能です。





3. 仕事を辞めて治療に専念する

(1)退職に伴う健康保険の変更

退職日の翌日からそれまで加入していた健康保険は適用されなくなります（在職時の健康保険証が使えるのは退職日まで）。そのため、次のいずれかへの変更の手続きが必要です。

①国民健康保険に加入する（保険料は各市町村によって異なります）
②引き続き、個人で全国健康保険協会・健康保険組合・共済組合に加入する（健康保険任意継続：保険料は退職時の健康保険料の２倍の額になり、退職日の翌日から20日以内に手続きが必要です）
③健康保険に加入するご家族の被扶養者になる（保険料負担はなし）

いずれの健康保険を選択するかは、毎月納める保険料などを比較の上、ご家族の状況に応じて選択されるとよいでしょう。制度の内容・保険料については、申請窓口にお問い合わせください。

家庭の状況に合う支援を受ける（傷病手当金） P80

【申請窓口・お問い合わせ先】

①国民健康保険：お住まいの市町村の国民健康保険担当課
②任意継続：
・協会けんぽに加入していた場合は全国健康保険協会沖縄支部
✆098-951-2211
受付時間：平日（年末年始をのぞく）8時30分～17時15分
・健康保険組合もしくは共済組合に加入していた場合は各組合
③ご家族の健康保険の被扶養者：ご家族の勤務先

覚えておくとよいこと

健康保険の被扶養者になれる人はご家族（被保険者）に生計維持されている３親等以内の親族です。被扶養者の認定には、年収が130万円（60歳以上・障害年金受給者は180万円）未満で、かつ被保険者の年収の半分未満である生計維持関係が必要です。
※収入には公的年金、傷病手当金や出産手当金を含みます。

(2)失業手当（基本手当）の受給期間の延長

雇用保険の失業手当（基本手当）は、原則、離職日の翌日から１年以内の失業している日について、一定の日数分支給されます。

しかし、この受給期間内に、病気やけがなどの理由により引き続き30日以上働くことができない場合、その働けない期間の失業手当は受給できません。その場合は、ハローワークに受給期間延長の申請をすることにより、原則の受給期間１年に、働けない期間を加算することができます。延長できる期間は、最長で退職日の翌日から４年以内までです。

ハローワーク那覇 P75
ハローワークプラザ沖縄 P75

【申請方法】

受給期間延長の手続きは、ハローワークの申請窓口のほか、代理人（委任状が必要）または郵送によっても行うことができます。詳しくは、住所地を管轄するハローワークにお問い合わせください。



赤田首里殿内（あかたすんどぅんち） 黄金灯籠下ぎてぃ（くがにどぅるー）
うりが明かがりば（あ） 弥勒御迎（みるくうんけー）

（赤田首里殿内）

4. 家庭の状況に合う支援を受ける

(1)傷病手当金

会社員や公務員の方向けの制度です

会社員や公務員の方が病気やケガの療養のために仕事を休み、給与の支払いがないとき、条件を満たした場合には傷病手当金が支給されます。



■退職後に継続して受給できる場合

被保険者期間が継続して１年以上あり、退職日に傷病手当金の支給を受けているか、または受けられる状態にある場合は、引き続き傷病手当金の支給を受けることができます。

対象となる人

健康保険、共済組合等、船員保険に加入しているご本人（被保険者）

⚠対象の条件

・病気やケガの療養のために仕事につけないこと
・連続する３日間を含み、４日目以降にも仕事を休んだ日がある
・給与（報酬）の支払いがないこと

※給与（報酬）をもらっていても、その額が傷病手当金の額よりも少ない場合は、傷病手当金は給与（報酬）との差額分が支払われます。

覚えておくとよいこと

・支給期間は休職４日目から１年６ヵ月間です。
・担当医師の証明、事業主(会社)の証明が必要になります。
・会社を退職する前に、加入している医療保険窓口に相談しましょう。

問い合わせ先 加入している各医療保険の窓口 P90

(2)ひとり親家庭等医療費助成制度

ひとり親家庭や小児向けの制度です

ひとり親家庭(母子および父子家庭等)の医療費を助成する制度です。所得制限があり、事前に申請が必要です。



対象となる人

各種医療保険に加入している以下の方
①母子家庭の母と児童
②父子家庭の父と児童
③養育する父母がいない児童

⚠対象の条件

この制度での「児童」とは18歳未満の子どもで、18歳に達した日以降の最初の３月31日までの者が対象です。

問い合わせ先 各市町村の児童家庭課など

(3)国民健康保険一部負担金の減免制度

生活が困窮した方向けの制度です

災害や失業などにより生活が苦しく、医療費の負担が困難な方に、一定期間内に限り一部負担金(ただし自己負担限度額内)の減額または免除をする制度です。

申請は、患者自身で行う必要があります。所定の審査を経た上で減額または免除された一部負担金は、加入している医療保険者から支払われます。

なお、健康保険の場合は、失業を理由とする減免制度は設けられていません。



問い合わせ先 加入している各医療保険の窓口 P90

(4)生活保護制度

病気や失業、老齢などの理由で、生活費や医療費などに困る場合があります。家族の収入が国の定める基準以下のとき、不足分を保護費として補てんする制度です。あらゆる手段を尽くしても、それでも生活のメドが立たないときに、初めて適用されます。

保護の申請の種類には、日常生活に必要な費用については生活扶助、医療については医療扶助、介護サービスについては介護扶助などがあります。

覚えておくとよいこと

・決定までに14日～30日かかります。
・決定したら、必要なすべての書類を揃えて提出した日にさかのぼって支援を受けられます。それ以前の時期は適用外ですので、申請を希望する場合は、早めに相談に行くことをおすすめします。

問い合わせ先 各市の福祉相談窓口
各町村管轄の福祉事務所 P91

(5)生活福祉資金貸付制度

収入が少ない世帯に、緊急的かつ一時的に生計の維持が困難となったときに、生活福祉資金を貸し付ける制度です。用途別に、貸付資金枠や限度額が設けられており、貸付条件があります。貸付利率は資金の種類によって無利子の場合もあります。詳細については下記へお問い合わせください。

対象となる人

低所得者世帯、障害者世帯、高齢者世帯で、金融機関等からの融資が困難な世帯

問い合わせ先 お住まいの地区の民生委員か、
沖縄県社会福祉協議会
https://www.okishakyo.or.jp

体験談

制度を利用して不安を軽くする

私の闘病はシングルマザーとして子供を育てていた30代半ばの頃、左脚の付け根に違和感を覚えたのが始まりでした。診断は100万人に数名という希少がんの骨肉腫。

看護師として働いていたものの歩行がままならなくなり、上司からやんわりと退職の方向へ。その時は仕事よりも残される子どもの心配、完治できるのかという不安で頭がいっぱいでしたが、仕事と治療の両立をもっと考えればよかったと思います。

長期入院による生活の心配については、高額療養費制度を知って経済的にとても助かりました。入院中は両親が子どもの面倒を見てくれて、安心して治療に専念。学校の担任の先生からも、連絡ノートでこまめに子供の様子を伝えていただきました。

治療中盤、手術の説明内容に不安を覚えた私は、症例数の多い病院でも話を聞いてみたいと思い、急遽セカンドオピニオンを尋ねることに。担当医は快く紹介状を書いて下さいました。

その結果、途中から転院することになりましたが、以降の治療も功を奏し、がんは寛解へ。今では身体に負担のない仕事を選び、元気に日常生活を送っています。

がんと診断された時に、お金や制度のこと、仕事と両立する工夫など、正しい情報があれば不安も軽くなり、希望を持って闘病できると思います。皆さまのお手元にこのがんサポートハンドブックが届きますように。

（50代 女性）

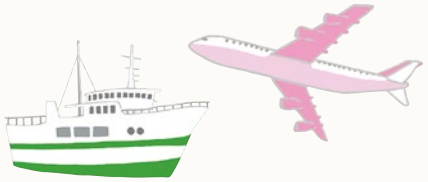
セカンドオピニオン P14
がん治療と療養の過程（ライフコース） P18

厚生労働省「事業場における治療と仕事の両立支援のためのガイドライン」
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000115267.html

5. 離島やへき地に住む人向けの制度を知る

(1)がん治療の渡航費等助成(沖縄県離島患者等支援事業)

離島に居住するがん患者さんが、本島等での通院が必要な場合に、渡航費や宿泊費の一部を市町村が助成する制度です。



対象となる人

離島に住所のある方で、おおむね次のとおりとなっていますが、対象者や助成内容の詳細は市町村によって異なりますので、お住まいの市町村へお問い合わせください。

①がん患者であって、医師が「居住地以外の医療機関での治療が必要」と認めた方

②付添人の方(ただし、助成を受けるがん患者が、未成年、要介護者であることなどの要件があります)

問い合わせ先 沖縄県保健医療部医療政策課 098-866-2111

沖縄県離島患者等支援事業
https://www.pref.okinawa.lg.jp/site/hoken/iryoseisaku/iryo/iryo/ritokanjashien.html

(2)離島へき地がん患者等宿泊支援制度(放射線治療対象)

離島や名護以北に居住するがん患者さんが、放射線治療を本島の対象９病院で受ける際、指定された宿泊施設で、本人や付添人が宿泊費の割引を受けられる制度です。(おおむね２割)

問い合わせ先 沖縄県保健医療部健康長寿課 098-866-2209

放射線治療を行っている本島内の病院 P26

離島へき地がん患者等宿泊支援制度
https://www.pref.okinawa.jp/site/hoken/kenkotyoju/cancer/gankanjyatoushienjigyou.html

体験談

死ぬも生きるも100%全開

私は2004年の夏に浸潤性乳管がんと診断されました。腫瘍は約8㎝、リンパへの転移、余命１年と告げられました。治療方針は抗がん剤投与で、治療開始２週目には髪の毛は全部抜け落ち、吐き気との闘い、落ち着いた頃にまた次の抗ガン剤投与。気が付けば１年３ヶ月が経ち、やっと退院。久しぶりの我が家です！

子どもたちに寂しい思いをさせた分、明るく振舞おうとしますが、現実は想像以上につらいものでした。放射線治療の後遺症で紫外線に当たると体が焼けるように痛く、カーテンを閉めきり、気分は落ち込みます。それでも家事をしなければならない毎日。

治療通院のため石垣島から沖縄本島、東京へと通いましたが、経済的にもだんだん苦しくなりました。そんな時、同じがん患者からの情報で、沖縄本島への通院が必要な場合には渡航費や宿泊費の一部を市町村が助成することを知りました。これを活用することで経済的な負担も精神面でも楽になりました。

しかし５年後、治療によりがんは消滅したものと思っていましたが、左乳房に再発。左乳房も全摘手術となりました。ある日、同じ乳がんを克服した女性と話す機会があり、彼女は明るい笑顔でこう言いました。「誰でも奇跡を起こせる可能性はある。心が折れることも多々あるけど、つらいことはすべて忘れて、希望を持って前に進むしかない！」。再発に対する不安が強かった私は、地元で乳がん患者会を発足させました。月１回、お茶をしながらの患者同士の情報交換はとても貴重な時間でした。

今では「私はがんに負けない。必ず克服できる」と信じ、「死ぬも生きるも100%全開 」「命ある限り精一杯生きよう」と考えています。感染症の影響で仲間ともあまり会えませんが、「離れていても心はいつもそばに」を胸に刻んで頑張る日々です。

(60代 女性)

同じ病気の人の話を聞いてみる P40

6. 障害についての支援を受ける

(1)障害年金

病気やケガなどで障害の状態になった原則65歳未満の方が受給要件を満たせば、公的年金制度から障害年金が受けられます。がんで人工肛門造設や喉頭摘出術を受けた方はもちろんですが、日常生活に制限を受ける状態になったがん患者さんも受けることができます。

障害基礎年金は、障害の程度によって1級と2級に分かれており、障害厚生年金は1〜3級まであります。なお、障害等級は、身体障害者手帳とは基準が異なるので、注意が必要です。また申請手続きも別に行う必要があります。

覚えておくとよいこと

・障害の原因となった病気について、初めて医師または歯科医師の診療を受けた日（初診日）が重要となりますので、必ず書き留めておきましょう。
・障害年金を受けるためには、保険料納付要件を満たすことが必要です。
・認定基準や手続きが複雑ですので、通院・入院している医療機関のソーシャルワーカーもしくは社会保険労務士にご相談ください。

問い合わせ先 各市町村の国民年金担当窓口
お近くの年金事務所、各共済組合窓口 P90

(2)障害手当金(厚生年金)

障害厚生年金の３級の障害の状態より傷病が軽く、かつ傷病が治癒している場合は、受給要件をみたせば、障害手当金（一時金として支給されます）が受けられます。まずは通院・入院している医療機関のソーシャルワーカーもしくは社会保険労務士にご相談ください。

問い合わせ先 お近くの年金事務所、各共済組合窓口 P90

覚えておくとよいこと

・民間の生命保険に加入している方で、高度障害状態に該当する場合は、高度障害保険金の請求ができる場合があります。ご加入の保険会社へご確認ください。

(3)身体障害者手帳

身体障害者手帳を持つことにより、以下にある様々な福祉サービスが受けられます。がんで人工肛門造設や喉頭摘出術を受けた方はもちろんですが、日常生活に制限を受ける状態になったがん患者さんも利用できることがあります。

手帳は障害の種類や程度などによって１〜６級に区分され、等級によって受けられる福祉サービスの内容が異なります。

■福祉サービスの内容

・日常生活用具の給付(人工肛門・人工膀胱などの補装具、電動人工喉頭や特殊ベッド、シャワーチェア、FAXなど)
・税金の控除・減免　・ＮＨＫ受信料の減免　・携帯電話の割引
・県営住宅の当選率上昇　・公共交通機関運賃の割引

福祉用具･介護用品 P57

■重度心身障害者医療費等助成の内容

医療保険に加入しているおおむね身体障害者手帳１・２級の方については、医療費の自己負担限度額分の後日手続きによる一部払い戻しを受ける方法と、事前手続きによる自動償還払いの方法があります。(所得によって該当しない場合があります)。

覚えておくとよいこと

・所定の診断書は、都道府県知事に指定された(那覇市の場合は市が指定した)医師のみ作成できます。
・まずは通院・入院している医療機関の担当医、またはソーシャルワーカーにご相談ください。
・申請してから結果がわかるまで約２〜３ヶ月かかります。

問い合わせ先 各市町村の障害福祉担当窓口



コチラもCheck!『がんになったら手にとるガイド』

「年金などからの支給」
「身体障害者手帳」

7. 子ども向けの制度を知る

(1)小児慢性特定疾病医療費助成制度

がんを含む小児慢性特定疾病の治療にかかった費用のうち、世帯の所得税額に応じて支払う自己負担金額を超えた部分を助成する制度です。対象となるかどうか、かかりつけの医師に相談しましょう。

問い合わせ先 各市の福祉相談窓口
各町村管轄の福祉事務所 P91

対象となる人
18歳未満の児童(引き続き治療が必要な20歳未満の者も含む)

対象の条件
生計の中心者の所得に応じた月額負担があります。

(2)特別児童扶養手当

一定の障害の状態にある２０歳未満の児童を扶養する父母、または実際の養育者に対し、支払われる手当です。所得制限があります。

問い合わせ先 お住まいの市区町村の児童福祉関係窓口

(3)障害児福祉手当

重度の障害を持つため、日常生活に常時介護を必要とする在宅の20歳未満の児童に対する手当です。所得制限があります。入院中の受給（申請）可否は市町村によって異なります。

問い合わせ先 お住まいの市区町村の障害福祉窓口



(4)その他の制度

疾病や治療によって、各団体の療養制度を利用できる場合があります。がん相談支援センター、または各団体へお問い合わせください。



■公益財団法人 がんの子どもを守る会　療養費制度

治療期間が長期にわたることや、保護者の付き添いによる二重生活やきょうだい児の保育などによって生じる経済的負担に対し、療養費の援助をしています。
原則、療養援助委員会の審査会(年5回開催)で助成内容や金額を決定します。

がんの子どもを守る会 03-5825-6312
相談専用電話：平日(年末年始をのぞく)10時～16時

■公益財団法人 HLA研究所「淳彦基金」

詳しくはP73をご参照ください。

■佐藤きち子記念「造血細胞移植患者支援基金」

詳しくはP73をご参照ください。

■アフラック小児がん経験者・がん遺児奨学金制度

高校生を対象に返還不要の奨学金を給付する制度です。小児がん経験者は、「18歳未満で小児がんを発症し、経済的援助を必要とする方」、がん遺児は、「主たる生計維持者をがん(悪性腫瘍)で亡くし、経済的援助を必要とする方」などが対象となっています。詳しい要件はご確認ください。

【応募に関するお問い合わせ先】
公益財団法人　がんの子どもを守る会　03-5825-6311
受付時間：月～金曜日(祝日をのぞく)10時～17時

【その他寄付などに関するお問い合わせ】
アフラック(アメリカンファミリー生命保険会社)広報部　社会公共活動推進課
03-5908-6413
受付時間：月～金曜日(祝日をのぞく)10時～17時

■年金事務所一覧

名護年金事務所 ✆0980-52-2522 〒905-0021 名護市東江1-9-19
コザ年金事務所 ✆098-933-2267 〒904-0021 沖縄市胡屋2-2-52
浦添年金事務所 ✆098-877-0343 〒901-2121 浦添市内間3-3-25
那覇年金事務所 ✆098-855-1111 〒900-0025 那覇市壺川2-3-9
平良年金事務所 ✆0980-72-3650 〒906-0013 宮古島市平良字下里791
石垣年金事務所 ✆0980-82-9211 〒907-0004 石垣市登野城55-3

■各医療保険窓口

□健康保険

協会けんぽ、船員保険（全国健康保険協会管掌健康保険）

【対象者】健康保険組合に加入していない事業所に所属する従業員、一定基準以上の客船、貨物船の船員、およびその扶養家族
【問い合わせ】全国健康保険協会沖縄支部✆098-951-2211 FAX:098-951-2295

組合管掌健康保険

【対象者】健康保険組合に加入した事業所に所属する従業員、およびその扶養家族
【問い合わせ】各健康保険組合担当窓口

□国民健康保険

【対象者】農業、自営業者、自由業者、無職の人
【問い合わせ】市町村の担当窓口

□共済組合等

【対象者】公務員、一部の独立行政法人職員、日本郵政株式会社等職員、私立学校職員、およびその扶養家族
【問い合わせ】各共済組合等担当窓口

□後期高齢者医療制度（長寿医療制度）

【対象者】原則として75歳以上の方全員(65歳以上で寝たきり等、一定の障害があると認定を受けている方)
【問い合わせ】沖縄県後期高齢者医療広域連合✆098-963-8012 FAX:098-964-7785

※所轄区域は、健康保険・厚生年金保険、国民年金、船員保険のそれぞれで分かれていますので、自身の加入する保険の所轄をお問い合わせください。
※傷病手当金などの申請受付や相談は、全国健康保険協会沖縄支部で行っています。遠方の方は、電話による相談や、郵送による申請書の提出がスムーズです。

■税務署一覧

名護税務署 ✆0980-52-2920 〒905-8668 名護市東江4-10-1
【所轄地域】名護市、国頭村、大宜味村、東村、今帰仁村、本部町、恩納村、宜野座村、金武町、伊江村、伊平屋村、伊是名村

沖縄税務署 ✆098-938-0031 〒904-2193 沖縄市東2-1-1
【所轄地域】宜野湾市、沖縄市、うるま市、中城村、北中城村、嘉手納町、北谷町、読谷村

北那覇税務署 ✆098-877-1324 〒901-2550 浦添市宮城5-6-12
【所轄地域】那覇市の一部、浦添市、西原町、久米島町、渡嘉敷村、座間味村、粟国村、渡名喜村、南大東村、北大東村

那覇税務署 ✆098-867-3101 〒900-8543 那覇市旭町9 沖縄国税総合庁舎
【所轄地域】那覇市の一部、糸満市、豊見城市、南城市、八重瀬町、与那原町、南風原町

宮古島税務署 ✆0980-72-4874 〒906-8601 宮古島市平良字東仲宗根807-7
【所轄地域】宮古島市、多良間村

石垣税務署 ✆0980-82-3074 〒907-8502 石垣市字登野城8
【所轄地域】石垣市、竹富町、与那国町

■福祉事務所一覧（生活保護に関する問い合わせ先）

※町村にお住まいの方は下記の福祉事務所へお問い合わせください。
※市にお住まいの方は市役所へお問い合わせください。

北部福祉事務所 ✆0980-52-2715 〒905-0017 名護市大中2-13-1
【所轄地域】国頭村、東村、大宜味村、今帰仁村、本部町、伊江村、伊平屋村、伊是名村

中部福祉事務所 ✆098-989-6603 〒904-2155 沖縄市美原1-6-28
【所轄地域】宜野座村、金武町、恩納村、読谷村、嘉手納町、北谷町、北中城村、中城村

南部福祉事務所 ✆098-889-6370 〒901-1104 南風原町宮平212
【所轄地域】久米島町、渡嘉敷村、座間味村、粟国村、渡名喜村、北大東村、南大東村、西原町、与那原町、南風原町、八重瀬町

宮古福祉事務所 ✆0980-72-3771 〒906-0007 宮古島市平良東仲宗根476
【所轄地域】多良間村

八重山福祉事務所 ✆0980-82-2330 〒907-0002 石垣市真栄里438-1
【所轄地域】竹富町、与那国町

面談にのぞむときの質問集

診断・病状・症状について

◎ 診断名は何ですか？（部位はどこですか？）

◎ ステージ（病気の進み具合）は？

◎ 今後どんな症状が起こりえますか？

◎ 転移はありますか？

◎ 治療にはどのようなものがありますか？

治療について

◎ 各治療法を選んだときに起こりうる合併症、短期的・長期的な副作用、後遺症は？

◎ その治療が効かなかったらどんな選択肢がありますか？

◎ 治療を受けながら他の民間療法やサプリメントなどを併用してもいいですか？

◎治療を受けない選択もできますか？

生活について

◎ 日常生活で気をつけた方がよいことがありますか？
（食事・運動・性生活など）

◎ 仕事や他の活動への影響はありますか？
（出張・旅行・車の運転など）

◎ どのような症状がでた場合、注意したほうがよいですか？

◎ 私がどうしても優先したいことは○○ですが、続けられますか？

この先のこと

◎ 先々の見通しは？（どのくらい生きられますか？）

◎ 治る可能性はありますか？

他に尋ねたいこと

◎

◎

◎

◎

私のメモ（担当医からの説明の記録）

受診日　　年　　月　　日

受診内容（検査・治療など）

医師からの説明

その他のメモ

受診日　　年　　月　　日

受診内容（検査・治療など）

医師からの説明

その他のメモ

受診日　　年　　月　　日

受診内容（検査・治療など）

医師からの説明

その他のメモ

あとがき

本書はがんと診断されたときに役立つ情報などを現状に添ってわかりやすくお伝えするために、毎年改訂されています。発行部数は2011年から数えて第12版にあたるこの2022年版で累計26万5千部となりました。沖縄県内に住むすべてのがん患者さんが使ってくださることを目指して、主に通院先の医療機関の担当医やその他の医療者を通じて無料で配布しています。また、市町村役場、保健所、図書館等でも手に取っていただけます。本書が沖縄県のがん患者さんとそのご家族のこれからの暮らしに役立ちますことを編集委員一同祈念しております

琉球大学病院がんセンター長・診療教授
増田 昌人

編集委員

片倉 政人（がん患者会　がんの子どもを守る会沖縄支部）
島袋 百代（がん患者会　パンキャンジャパン沖縄支部）
田盛 亜紀子（がん患者会　やいまゆんたく会）
大湾 盛治（がんピアサポーター）
金城 由紀子（キャリア自立・人財マネジメントオフィス･PDCA　社会保険労務士）
高嶺 志乃（高嶺社会保険労務士事務所）
佐久川 夏実（沖縄県南部医療センター・こども医療センター
チャイルド・ライフ・スペシャリスト）
宮城 愛子（医療法人 寿仁会　訪問看護ステーション　アレグリア
訪問看護認定看護師）
中山 富美（沖縄県地域統括相談支援センター・がんピアサポーター）
大久保 礼子（琉球大学病院がんセンター　医療ソーシャルワーカー）
増田 昌人（琉球大学病院がんセンター　血液・腫瘍内科医）
城間 久美子（琉球大学病院がんセンター　事務担当）

編集協力

一般社団法人 沖縄県がん患者会連合会
琉球大学病院　周産母子センター
沖縄県がん診療連携協議会
沖縄県保健医療部健康長寿課

編集

写真　西 美都
イラスト　三枝 真魚
デザイン　ヤマモトマサミ（Masymoonkey）
編集ディレクション　三枝 克之（office UNIZON）

地域の療養情報

おきなわ がんサポート ハンドブック

発行日	2022年3月31日　2022年版発行 令和3年度 沖縄県委託事業
編著	沖縄県 琉球大学病院がんセンター
発行所	沖縄県 〒900-8570　那覇市泉崎1-2-2
編集	office UNIZON 〒901-2201　宜野湾市新城2-39-8　MIX life-style 2F
印刷・製本	丸正印刷株式会社 〒903-0211　西原町字小那覇1215

本書の転写・複製・転載を禁じます。ただし、地方自治体や都道府県がん診療連携協議会拠点病院等の関係者による「がん対策」においては、その限りではありませんので、琉球大学病院がんセンターまでお問い合わせください。

がんの冊子

がん情報サービスでは、がんの冊子を発行しています。がんが疑われている方やがんと診断を受けた方、そのご家族などへ向けた冊子で、病気や治療について、知っておいていただきたい情報をまとめています。ホームページでも無料で閲覧・印刷することができます。また、これらの冊子はがん相談支援センターにて入手したり、閲覧することができます。数に限りがありますので、事前にがん相談支援センターへお問い合わせください。

がん相談支援センター P10

国立がん研究センターがん情報サービス がんの冊子
https://ganjoho.jp/public/qa_links/brochure

各種がんシリーズ



101. 胃がん
102. 食道がん
103. 大腸がん
104. 肝細胞がん
105. 膵臓がん
106. 胆道がん
113. 喉頭がん
114. 舌がん
115. 脳腫瘍
116-1. 上咽頭がん
116-2. 中咽頭がん
116-3. 下咽頭がん
117. 甲状腺がん
118. 神経膠腫（グリオーマ）
123. 肺がん
141. 子宮頸がん
142. 卵巣がん・卵管がん
143. 子宮体がん
144. 乳がん
146. 外陰がん
152. 腎細胞がん
153. 前立腺がん
154. 膀胱がん

※他に「小児がんシリーズ」（5 タイトル）、「がんと療養シリーズ／社会とがんシリーズ／がんを知るシリーズ」（9 タイトル）もあります。